

平成18年度

大分市美術館

年報

目次

1. 運営方針	4
2. 沿革	5
3. 展覧会事業	6
1. 特別展	6
2. 常設展	27
3. サマー企画	38
4. 収蔵品小企画	41
5. 大分市美術展覧会	44
4. 教育普及事業	45
1. ハイビジョンシステム	45
2. ハイビジョンシアター	48
3. 夏休み子ども名作上映会	48
4. 芸術・文化に親しむ講座	49
5. 実技講座	49
6. アートカレッジ	49
7. 美術館で音楽会	50
8. 子ども講座	50
9. 出前鑑賞教室	51
10. 職場体験	52
11. ボランティア研修講座	52
12. ボランティア活動	53
13. 博物館実習	54
14. 各種刊行物	54
5. 資料収集事業	55
1. 美術品等収集事業	55
2. 平成18年度作品貸出実績	57
3. 図書	57
4. 映像資料	57
6. 管理運営	58
1. 職員数	58
2. 事務分掌	58
3. 利用状況	59
4. 建築設備概要	60
5. フロア別面積	62
6. 決算	63
7. 利用案内	63

8.	条例.....	64
9.	条例施行規則.....	64
7.	アートプラザ.....	65
1.	運営方針.....	65
2.	施設概要.....	65
3.	業務内容.....	65
4.	現代美術作品 大分市美術館所蔵 常設展示.....	67
5.	利用案内.....	68
6.	利用状況.....	68
7.	アートプラザ条例.....	69
8.	アートプラザ条例施行規則.....	69
9.	アートプラザ管理規則.....	69

1. 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな優れた分野の美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までが生涯学習の施設として「幅広く楽しむ」美術館の運営をめざしている。また、

- ① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

以上の方針に基づき収集保存活動をはじめとして、調査研究活動、展示活動、教育普及活動、広報活動という5つの活動を通じて、幅広く芸術文化の振興につとめている。

2. 沿革

昭和 60(1985)年		展示用美術品の購入開始
昭和 62(1987)年	6 月	市長、6 月議会において、美術館建設を表明 教育委員会社会教育課を所管事務担当とする
昭和 63(1988)年	8 月	大分市美術館基本構想委員会設置(委員 15 名、会長高辰雄画伯)
平成元(1989)年	3 月	ハイビジョン・シティ構想(郵政省)のモデル都市指定を受ける
	9 月	大分市美術館基本構想委員会が大分市美術館基本構想を答申
平成 2(1990)年	2 月	大分市美術館建設委員会設置(委員 17 名、会長高山辰雄画伯)
	4 月	教育委員会庶務課に美術館建設事務従事を置く
	5 月	美術館建設予定地を上野丘陵地に決定 (第 2 回大分市美術館建設委員会)
	6 月	(仮称)大分市美術館美術作品収集委員会設置要綱制定(委員 9 名)
平成 3(1991)年	4 月	設計者を内井昭蔵建築設計事務所と決定 (指名 5 社プロポーザル方式、第 4 回大分市美術館建設委員会)
	9 月	上野丘公園が「平成記念子どものもり公園(建設省)」に指定される
	10 月	市長、「美術館建設計画の見直し」を発表
平成 5(1993)年	4 月	教育委員会文化振興課を所管事務担当とする
平成 6(1994)年	12 月	市長、定例記者会見で旧県立図書館(磯崎新氏設計)の大分市での有効活用を発表
平成 7(1995)年	4 月	旧県立図書館を大分市が無償貸与を受ける
	9 月	美術館基本・実施設計委託(内井昭蔵建築設計事務所)
	12 月	美術館基本設計終了
平成 8(1996)年	4 月	教育委員会に美術館建設準備室を設置
	5 月	美術館実施設計完了
	9 月	美術館敷地造成工事着工
	12 月	美術館敷地造成工事完成 美術館新築工事着工
平成 10(1998)年	6 月	美術館本体工事完成
	9 月	美術館外構工事完成「大分市美術館条例」制定
	12 月	大分市美術館発足
平成 11(1999)年	2 月	17 日、開館
平成 12(2000)年	11 月	第 41 回建築業協会賞受賞
平成 14(2002)年	2 月	観覧者が 50 万人を超える
平成 16(2004)年	7 月	16 日、皇太子殿下行啓

3. 展覧会事業

3. 1. 特別展

3. 1. 1. 日本画二人展×2

概要 福田平八郎、高山辰雄など、近・現代日本画の巨匠を生み出した大分では、他にも優れた日本画家を輩出し、近年では、日本画を描く人の数は増加し、活況を呈している。

こうした要因として、地元大分で活躍する主要な日本画家が、自主的な研究会や展覧会を実施し、さらには自らの制作を通して後進の指導に努め、日本画の普及に尽力してきたことが挙げられる。

今回取りあげた紙谷義久、宮崎喜恵、鈴木忠実、上野未央の四氏は、現在大分の日本画界におけるリーダー的存在であり、日本画の振興に貢献してきた重要な作家である。

本展では、この四作家の画業を「日本画二人展×2」として二期に分けて紹介し、その活躍の跡をたどった。

会期 I：紙谷義久・宮崎喜恵 展 平成18年5月16日(火)～6月11日(日)

II：鈴木忠実・上野未央 展 平成18年6月13日(火)～7月9日(日)

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 102点

観覧者数 5,182人

観覧料 一般600(500)円／高大生400(300)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

関連行事 ■作家トーク (無料)

① 紙谷義久

日時 平成18年5月21日(日) 午後2時～3時30分

参加者 80人

② 宮崎喜恵

日時 平成18年5月27日(土) 午後2時～3時30分

参加者 176人

③ 鈴木忠実

日時 平成18年6月17日(土) 午後2時～3時30分

参加者 172人

④ 上野未央

日時 平成18年6月24日(土) 午後2時～3時30分

参加者 123人

場 所 ハイビジョンホール

■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日 時 会期中毎週水曜日 午後2時～

場 所 特別展示室

参加者 56人

印刷物 ・ポスターB2判・チラシA4判・図録30PA4版

関連記事 「紙谷義久展に寄せて」『大分合同新聞』5月25日

「宮崎喜恵展に寄せて」『大分合同新聞』6月1日

「鈴木忠実展」『大分合同新聞』6月22日

「上野未央展」『大分合同新聞』6月29日

(担当/野田)

前期：紙谷義久・宮崎喜恵二人展

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	紙谷 義久	寒い朝 1月	1983	162×130	紙本彩色
2	紙谷 義久	立春 2月	1983	91×116.5	紙本彩色
3	紙谷 義久	早春 3月	1984	162×130	紙本彩色
4	紙谷 義久	洛陽の石仏Ⅰ	1985	162×112	紙本彩色
5	紙谷 義久	雨季 7月	1986	145.5×145.5	紙本彩色
6	紙谷 義久	洛陽の石仏Ⅱ	1986	162×112	紙本彩色
7	紙谷 義久	月夜 9月	1987	145.2×112	紙本銀地彩色
8	紙谷 義久	森の中 11月	1987	162×130.3	紙本彩色
9	紙谷 義久	育む 12月	1989	162×130	紙本彩色
10	紙谷 義久	シオン城	1989	162×130	紙本彩色
11	紙谷 義久	さるだんご 2月	1990	145.5×112	紙本彩色
12	紙谷 義久	ロンドン塔の番人	1990	162×112	紙本彩色
13	紙谷 義久	くずの花 10月	1994	91×116.5	紙本彩色
14	紙谷 義久	母子 6月	1996	130.5×89.5	紙本彩色
15	紙谷 義久	遊ぶ 10月	1996	145.2×112	紙本彩色
16	紙谷 義久	毛づくろい 10月	2000	130.5×130	紙本彩色
17	紙谷 義久	子ざるどうし 1月	2000	162×130	紙本彩色
18	紙谷 義久	夜明け 8月	2001	117×91	紙本彩色
19	紙谷 義久	待って 9月	2001	91×116.5	紙本彩色
20	紙谷 義久	水仙	2003	91×72.8	紙本彩色
21	紙谷 義久	ジュピター 3月	2004	73×91	紙本彩色
22	紙谷 義久	ベネチアの海	2005	117×91	紙本彩色
23	田川 奨	君が代蘭	1937	227.3×181.8	紙本彩色
24	田川 奨	万象	1982	145.5×112.1	紙本彩色
25	田川 奨	春雷	1987	145.5×112.1	紙本彩色

26	宮崎 喜恵	冬の日	1949	115×76	油彩・カンバス
27	宮崎 喜恵	ぎよば	1960	135.7×59.7	紙本彩色
28	宮崎 喜恵	網	1961	80.5×151.0	紙本彩色
29	宮崎 喜恵	すなどる人	1962	183.5×91.7	紙本彩色
30	宮崎 喜恵	高校生	1978	160.5×129	紙本彩色
31	宮崎 喜恵	いたずらっ子	1985	161×69.5	紙本彩色
32	宮崎 喜恵	アトリエにて	1985	160.5×69	紙本彩色
33	宮崎 喜恵	少女	1987	116.5×84	紙本彩色
34	宮崎 喜恵	彼岸	1988	160.5×129	紙本彩色
35	宮崎 喜恵	あだし野	1990	162.1×130.3	紙本彩色
36	宮崎 喜恵	母と子	1991	160.5×82.5	紙本彩色
37	宮崎 喜恵	母と子	1991	160.5×129	紙本彩色
38	宮崎 喜恵	春日	1993	176.0×85.5	紙本彩色
39	宮崎 喜恵	春を待つ	1994	160×78.5	紙本彩色
40	宮崎 喜恵	少女	1994	145×112	紙本彩色
41	宮崎 喜恵	磨崖の佛さん	1999	160.5×110.5	画布彩色
42	宮崎 喜恵	里の佛さん	1999	130.3×130.3	画布彩色
43	宮崎 喜恵	お助け地藏さま	2000	130.3×130.3	画布彩色
44	宮崎 喜恵	雪ん子(かなちゃん)	2002	116.5×80	紙本彩色
45	宮崎 喜恵	救	2003	129×128.5	画布彩色
46	宮崎 喜恵	想う	2004	115×89	画布彩色
47	宮崎 喜恵	黒い雨	2005	97.0×97.0	画布彩色
48	宮崎 喜恵	立つ	2006	162.1×130.3	画布彩色

後期：鈴木忠実・上野未央二人展

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
49	鈴木 忠実	黒きマリア	1980	145.5×112.1	紙本彩色
50	鈴木 忠実	黒い聖母	1988	162.1×262.0	紙本彩色
51	鈴木 忠実	シャルトル	1988	162.1×262.0	紙本彩色
52	鈴木 忠実	黒き聖母	1990	148.0×72.0	紙本彩色
53	鈴木 忠実	旧約の王達	1990	148.0×72.0	紙本彩色
54	鈴木 忠実	白い聖堂	1991	148.0×72.0	紙本彩色
55	鈴木 忠実	アンゼルス	1991	148.0×72.0	紙本彩色
56	鈴木 忠実	飛翔	1993	162.1×262.0	紙本彩色
57	鈴木 忠実	佇む	1994	162.1×130.3	紙本彩色
58	鈴木 忠実	ベールの実 I	1996	154.0×444.0	紙本彩色
59	鈴木 忠実	PASHUPATINATH	1997	162.1×262.0	紙本彩色
60	鈴木 忠実	ベールの実 II	1997	162.1×130.3	紙本彩色
61	鈴木 忠実	ベールの実 IV	1997	90.9×116.7	紙本彩色
62	鈴木 忠実	立つ	1998	130.3×130.3	紙本彩色
63	鈴木 忠実	家路	1998	162.1×262.0	紙本彩色
64	鈴木 忠実	水売り	1999	90.9×72.7	紙本彩色
65	鈴木 忠実	乾季	1999	90.9×90.9	紙本彩色

66	鈴木 忠実	魚売り	2000	90.9×72.7	紙本彩色
67	鈴木 忠実	JAISALMER	2001	72.7×60.6	紙本彩色
68	鈴木 忠実	霧を行く	2002	162.1×262.0	紙本彩色
69	鈴木 忠実	SAM 砂丘	2003	162.1×262.0	紙本彩色
70	鈴木 忠実	路上	2004	90.9×72.7	紙本彩色
71	鈴木 忠実	ミテラ画の里	2004	162.1×262.0	紙本彩色
72	鈴木 忠実	ギザの男	2005	72.7×60.6	紙本彩色
73	鈴木 忠実	鷲(うそ)	2005	72.7×60.6	紙本彩色
74	鈴木 忠実	生	2005	162.1×262.0	紙本彩色
75	鈴木 忠実	RAJASTHAN	2005	130.3×130.3	紙本彩色
76	上野 未央	レクイエム(鎮魂歌) I	1983	227.3×227.3	紙本彩色
77	上野 未央	暗炎	1983	181.6×454.6	紙本彩色
78	上野 未央	レクイエム(鎮魂歌) III	1985	227.3×227.3	紙本彩色
79	上野 未央	華炎	1985	148.0×72.0	紙本彩色
80	上野 未央	富貴花	1986	72.7×90.9	紙本彩色
81	上野 未央	レクイエム(鎮魂歌) VII	1987	227.3×227.3	紙本彩色
82	上野 未央	華	1988	径 59.0	紙本彩色
83	上野 未央	風韻	1989	227.3×227.3	紙本彩色
84	上野 未央	華<牡丹図>	1991	72.7×90.9	紙本彩色
85	上野 未央	バリの踊り子(少女)	1992	116.7×90.9	紙本彩色
86	上野 未央	秋草図	1993	181.6×227.3	紙本彩色
87	上野 未央	椿花図	1994	60.6×72.7	紙本彩色
88	上野 未央	'95 挽歌	1995	181.6×227.3	紙本彩色
89	上野 未央	燐	1995	81.0×127.0	紙本彩色
90	上野 未央	初夏	1998	径 59.0	紙本彩色
91	上野 未央	燦々<原尻の滝>	1999	227.3×724	紙本彩色
92	上野 未央	秋聲	2001	181.8×227.3	紙本彩色
93	上野 未央	寒邨暮色	2001	181.6×227.3	紙本彩色
94	上野 未央	'03 創(いのち)	2003	90.9×116.7	紙本彩色
95	上野 未央	華	2003	45.5×53.0	紙本彩色
96	上野 未央	春宵	2003	45.5×53.0	紙本彩色
97	上野 未央	朧	2003	45.5×53.0	紙本彩色
98	上野 未央	'04 創(いのち)	2004	130.3×130.3	紙本彩色
99	上野 未央	聖樹桜観音	2004	径 59.0	紙本彩色
100	上野 未央	'05 創(いのち)-III	2005	181.6×227.3	紙本彩色
101	上野 未央	'06 創(いのち)-V	2006	181.6×227.3	紙本彩色
102	上野 未央	宙	2006	181.6×454.6	紙本彩色

3. 1. 2. ボックスアート プラモデルパッケージと戦後の日本文化 大和、スーパーカーそしてガンダムまで

概要 1950年代後半に登場したプラモデルは、瞬く間に人々の心をとらえ、時代毎にその姿を変えながら子ども達の夢を育ててきた。また、戦後以降の美術や文化の成果が反映されたその箱のデザインは、子ども達にわくわくする空想の喜びを与えた。

本展では、プラモデルの箱絵（ボックスアート）を中心に、プラモデル、少年雑誌やジオラマ等を一堂に展示し、戦時下から戦後の高度成長期を経て現在にいたる大衆文化の興味深い一面を紹介した。

会期 平成18年7月15日（土）～9月4日（月）

主催 大分市美術館、大分合同新聞社

後援 NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、

OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

協力 (株)タミヤ、(株)ハセガワ、(株)アオシマ文化教材社、(株)バンダイ、ロックウェーブ

企画協力 モマ・コンテンポラリー

出品点数 ボックスアート150点及びプラモデル等関連資料

観覧者数 16,708人

観覧料 一般800(600)円／高大生600(400)円

中学生以下無料

※()内は20名以上の団体。

関連事業 ■講演会（無料）

日時 7月23日（日）午後1時30分～3時30分

場所 研修室

講師 田宮俊作氏（株式会社タミヤ代表取締役社長）、
工藤健志氏（青森県立美術館学芸員）

演題 戦後の日本文化とプラモデル

参加者 188人

■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日時 会期中毎週水曜日 午後2時～

場所 企画展示室

参加者 85名

関連記事 「ワクワク夢の世界 ボックスアート展」『大分合同新聞』8月7日

（抜粋）「強烈なインパクト」波多野義孝 夕刊『大分合同新聞』8月24日

（担当 岡村）

番号	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	材質.技法
1	作家不明	ヴァンガード(ソリッドモデル)	1950	30.5x64.7	水彩/紙
2	小松崎 茂	ドイツ パンサータンク	1961	35.3x35.4	鉛筆、水彩/紙
3	六車 弘	1/450 アメリカ戦艦 ミズーリ	1961	67x97	水彩/紙
4	小松崎 茂	アメリカ陸軍対空戦車 M42 ハンター	1962	20.1x31.5	鉛筆、水彩/紙
5	上田 毅八郎	日本戦艦 大和	1962	41.5x72.2	水彩/ボード
6	上田 毅八郎	日本戦艦 武蔵	1962	41.5x72.2	水彩/ボード
7	梶田 達二	フォードGT	1962	39x24.5	水彩/紙
8	小松崎 茂	日本海軍零式艦上戦闘機 52 型	1963	21x34.5	鉛筆、水彩/紙
9	小松崎 茂	アメリカ 175 mm自走砲 ロングトム	1963	21.4x44.5	水彩/紙
10	小松崎 茂	スイス陸軍装甲車 スコーピオン	1963	21.4x42.1	鉛筆、水彩/紙
11	上田 毅八郎	1/450 日本航空母艦 信濃	1963	28.5x84	ボード/紙
12	平野 光一	ハンター	1963	22x46	鉛筆、水彩/紙
13	梶田 達二	リンカーンコンチネンタル	1964	69x39	水彩/紙
14	小松崎 茂	日本陸軍一式戦闘機三型甲 隼	1964	21x42.5	鉛筆、水彩/紙
15	上田 毅八郎	ジェットアロー	1964	31x56	ボード/紙
16	梶田 達二	フェラーリ 250GTO	1964	38x24	水彩/紙
17	高荷 義之	ドイツ III号戦車	1965	38.3x57.5	鉛筆、水彩/紙
18	小松崎 茂	日本海軍試作局地戦闘機 J7W1 震電	1965	19x43	鉛筆、水彩/紙
19	上田 毅八郎	ポリスパトロール	1965	35x66.5	水彩/ボード
20	川上 恭弘	ロータス 30	1965	22x53.1	水彩/紙
21	作家不明	フェラーリ 330P2	1966	23.8x59.8	水彩/紙
22	六車 弘	1/72 二式大艇	1966	29x54.5	水彩/紙
23	小松崎 茂	ソビエト襲撃砲戦車ジューコフ	1966	31x44	鉛筆、水彩/紙
24	高荷 義之	ソビエト襲撃砲戦車ジューコフ	1967	23.6x42.5	水彩/紙
25	川上 恭弘	ホンダ F-1	1967	54.4x38	水彩/ボード
26	大西 将美	ドイツ重戦車 キングタイガー	1967	50.3x77.3	水彩/紙
27	大西 将美	フランス A.M.X.30 ナポレオン	1967	26x43.6	水彩/紙
28	六車 弘	フェラーリ250ルマン	1967	47x68	水彩/紙
29	大西 将美	フィアット G.91	1968	31x54.5	水彩/ボード
30	六車 弘	1940 年型フォードクーペ	1968	36x61	水彩/紙
31	六車 弘	1929 年型ロードスター	1968	44x67	水彩/紙
32	六車 弘	1940 年型フォードセダン	1968	48.5x68	水彩/紙
33	六車 弘	モホークB(旧)	1968	46x68	水彩/紙
34	六車 弘	1/72 連山	1968	35.5x57.5	水彩/紙
35	六車 弘	1/72 一式陸攻	1969	67x98	水彩/紙
36	高荷 義之	スウェーデン“S”バルカン新鋭戦車	1969	54.6x71.2	鉛筆、水彩/紙
37	小松崎 茂	日本海軍局地戦闘機 JACK 雷電	1969	28.5x48	鉛筆、水彩/紙
38	梶田 達二	アポロ 11 号 月着陸船	1970	36.2x51.5	水彩/紙
39	川上 恭弘	ホンダ・ドリーム CB750	1970	71.3x99.8	水彩/ボード
40	中西 立太	アメリカ M60A1E1 ビクター	1970	36.3x67.8	鉛筆、水彩/ボード
41	六車 弘	フォッケウルフ FW190	1970	33x56.5	水彩/紙
42	高荷 義之	アメリカ M60A1 シャイアン戦車	1970	39.6x72.4	水彩/ボード

43	高荷 義之	イギリス高速魚雷艇ボスパー	1971	37.8x72.8	鉛筆、水彩/ボード
44	上田 毅八郎	'Bianchi' U.S.A	1971	37.5x46.3	水彩/ボード
45	上田 毅八郎	戦艦 山城	1971	26x80	水彩/ボード
46	上田 毅八郎	航空母艦 飛龍	1971	26x80	水彩/ボード
47	上田 毅八郎	戦艦 陸奥	1971	24x77.7	水彩/ボード
48	上田 毅八郎	1/72 フジ T-1A	1971	36.2x51.5	水彩/ボード
49	上田 毅八郎	日本航空母艦 信濃(しなの)	1971	26.4x80.2	水彩/ボード
50	上田 信	F-86F セイバー & ミグ-15	1971	33x51	水彩/ボード
51	平野 光一	アメリカ対空自走砲 M42 ダスター	1971	65.0x101.7	水彩、ポスターカラー/ボード
52	大西 将美	日本陸軍四式戦闘機キ-84 I 型甲 疾風	1971	39x67.2	水彩/ボード
53	高荷 義之	ドイツ駆逐戦車 カノン	1971	27x51.5	水彩/ボード
54	上田 毅八郎	日本航空母艦 赤城	1972	41.5x72.5	水彩/ボード
55	大西 将美	ドイツ 88mm 砲 Flak36/37	1972	51x76.3	水彩/ボード
56	高荷 義之	日本海軍二式水上戦闘機(A6M2-N)	1973	43.2x72.6	鉛筆、水彩/ボード
57	上田 毅八郎	潜水艦 伊-400	1973	20x52.5	水彩/ボード
58	上田 毅八郎	日本潜水艦 伊-16・伊-58	1973	22.9x53.2	鉛筆、水彩/ボード
59	上田 毅八郎	アメリカ海軍航空母艦エンタープライズ	1974	25.6x72.5	水彩/ボード
60	上田 信	ドイツ歩兵突撃セット	1974	51.4x35.2	水彩/ボード
61	小池 繁夫	1/72 ドイツ列車砲 K5(E)レオポルド	1975	34.5x55.5	水彩/紙
62	高荷 義之	イギリス戦車 チーフテン Mk.5	1976	51.5x72.6	水彩/ボード
63	小池 繁夫	1/72 Great 040 60cm モーゼルカール	1976	25x44	水彩/紙
64	上田 毅八郎	1/700 ドイツ潜水艦Uボート 7C/9C	1976	23x49.5	鉛筆、水彩/紙
65	川上 恭弘	マクラーレン M23	1977	48.4x72.8	水彩/ボード
66	島村 英二	ランボルギーニ・カウンタック LP500S	1978	51.5x72.9	水彩/ボード
67	上田 毅八郎	1/700 日本郵船氷川丸	1979	24x61	ボード/紙
68	小池 繁夫	1/200 日本航空ボーイング 747 ジャンボ	1980	26x50.5	水彩/紙
69	青島 敏行	フェラーリ 312T4	1980	51.5x73	水彩/ボード
70	小池 繁夫	1/200 スペースシャトル オービターW/ブースター	1985	38.5x25	水彩/紙
71	上田 毅八郎	ひばり	1985	18.8x41.5	水彩/紙
72	上田 毅八郎	いしかり	1985	18.8x41.5	水彩/紙
73	川上 恭弘	ロータス・ホンダ 99T	1987	51.5x72.8	水彩/ボード
74	小池 繁夫	1/48 川西 局地戦闘機 紫電改	1988	25x40	水彩/紙
75	川上 恭弘	マクラーレンホンダ MP4/4	1988	51.5x72.8	水彩/ボード
76	江間 浩司	ドイツタイガー I 重戦車(後期生産型)	1989	51.4x72.8	水彩/ボード
77	吉田 勇治	1/24 チャージマツダ767B	1990	36.4x51.5	水彩/ボード
78	佐竹 政夫	九〇式艦上戦闘機2型 (ファインモールド)	1990	38x62	水彩/紙
79	吉田 勇治	1/24 ランチャデルタ HF インテグラール 16V	1991	31.5x45.9	水彩/ボード
80	溝川 秀男	マクラーレン MP4/6 ホンダ	1991	54x76.3	水彩/ボード
81	高荷 義之	アメリカ海軍 PBR31Mk. II ピパー	1991	44.3x72.5	アクリル/ボード
82	溝川 秀男	マツダ 787B (1991年ル・マン 24時間レース優勝車)	1992	45.6x64.8	水彩/ボード

83	高荷 義之	アメリカ強襲水陸両用兵車 AAVP7A1 アップガンシードラゴン	1992	51.4x72.6	アクリル/ボード
84	和田 隆良	1/24 ジョーダンヤマハ192	1992	30x45.2	水彩/紙
85	和田 隆良	1/24 ウィリアムズルノーFW14B 1992 年型	1992	32x48.5	水彩/紙
86	N.GALLOWAY	マクダネル・ダグラス F-15 ストライクイーグル	1993	44.3x84.3	水彩、鉛筆、コンテ/ ボード
87	佐竹 政夫	CF-18ホーネット カナディアンエアフォース	1993	39x58.6	水彩/紙
88	和田 隆良	1/24 ホンダ F1 RA272E 1965 アメリカ GP	1996	32.6x48.2	水彩/紙
89	.OLIVEREAU	ブリストル・ボーファイターMk.VI	1997	44.3x30.1	水彩/ボード
90	江間 浩司	アメリカ 40トン戦車運搬車 “ドラゴンワゴン”	1998	51.5x73.2	アクリル/ボード
91	上田 毅八郎	日本海軍戦艦 大和(やまと)	1998	46x72.7	不透明水彩、鉛筆/ ボード
92	江間 浩司	ドイツ 18トン重ハーフトラック・FAMO	1999	51.5x72.8	アクリル/ボード
93	大西 将美	ドイツ アフリカ軍団ロンメル元帥	1999	60.8x41.5	水彩/ボード
94	小池 繁夫	1/48 F-104J スターファイター 航空自衛隊	2000	19x36.5	水彩/紙
95	福村 一章	トヨタ GT-one TSO20	2000	51.5x72.8	水彩/ボード
96	平根 隆広	アンフィニ RX-7	2000	36.1x51.5	水彩/紙
97	小池 繁夫	1/48 AH-64D アパッチロングボウ	2001	27x42.5	水彩/紙
98	天神 英貴	スピットファイア Mk.I	2001		CG(コンピューター グラフィックス)
99	よした のぶひこ	エンツォ・フェラーリ	2002	44.3x68.6	水彩/ボード
100	大西 将美	Pkw.K1 キューベルワーゲン 82 型	2003	66.0x40.0	水彩/ボード
101	江間 浩司	陸上自衛隊軽装甲機動車イラク派遣仕様	2004	51.5x72.8	アクリル/ボード
102	小池 繁夫	1/32 疾風	2004	30.7x40	水彩/紙
103	大西 将美	アメリカ M4 シャーマン戦車(初期型)	2004	67.1x38.1	水彩/ボード
104	小池 繁夫	1/350 戦艦三笠 日本海海戦	2004	30.5x48.3	水彩/紙
105	寺田 敬	ドイツ駆逐戦車ヘッツァー中期生産型	2005		CG
106	小池 繁夫	1/350 三笠 黄海海戦	2005	24.3x36.2	水彩/紙
107	寺田 敬	ソビエト自走砲 SU-122	2006		CG
108	小松崎 茂	スーパーカー	1962	37.5x42	水彩/紙
109	小松崎 茂	双胴ボートカタマラン デラックス	1963	26.3x41	鉛筆、水彩/紙
110	小松崎 茂	自動浮潜式ミサイル潜水艦グレイバック	1966	15x45.5	鉛筆、水彩/紙
111	小松崎 茂	自動浮潜式ミサイル潜水艦ハリバット	1966	15.3x45	鉛筆、水彩/紙
112	小松崎 茂	ファイターナイン	1967	24x37.5	水彩/紙
113	小松崎 茂	ジョー90 マックスカー	1969	46.5x65	水彩/紙
114	小松崎 茂	強力 6 輪装甲車 U87 スترونガー	1969	22x40	水彩/紙
115	小松崎 茂	バージュル人形付 サンダーバード TB2 号	1971	19x33	水彩/紙
116	上田 毅八郎	アタック7シリーズ スカーレッド	1971	36.0x57.9	水彩/ボード
117	上田 毅八郎	サンダーセブン	1971	32x51.6	水彩/ボード
118	根本アートセンター	光の戦士 ダイヤモンド・アイサンダー号	1973	38.0x28.0	
119	梶田 達二	流れ星	1976	54.2x69.5	水彩/紙
120	根本アートセンター	合体マシン 8 号 ターゲットキャリア	1977	36x47.3	水彩/紙
121	根本アートセンター	合体マシン 7 号 レッドクリッパー	1977	36x47.3	水彩/紙

122	根本アートセンター	合体巨神イデオ	1980	32.5x47.5	
123	作家不明	ジョング	1980	26x43	水彩/紙
124	根本アートセンター	合体戦士アクロバンチ	1982	50.5x36.0	
125	石橋 謙一	1/144 ウォーカー・マシン ザブングル	1982	36.4x25.7	ガッシュ/紙
126	石橋 謙一	1/144 ウォーカーマシン ダッカータイプ	1982	36.4x25.7	ガッシュ/紙
127	石橋 謙一	1/144 ウォーカーマシン カプリコタイプ	1982	36.4x25.7	ガッシュ/紙
128	石橋 謙一	1/1200 ガウ攻撃空母	1982	25.7x36.4	ガッシュ/紙
129	石橋 謙一	1/144 コアブスター	1982	36.4x25.7	ガッシュ/紙
130	開田 裕治	バルタン星人	1983	50.5x35.5	水彩/紙
131	開田 裕治	ゴモラ	1983	50.5x35.5	水彩/紙
132	開田 裕治	ゴジラ	1983	50.5x35.5	水彩/紙
133	開田 裕治	1/72 ダンバイン	1983	28.2x40	水彩/紙
134	開田 裕治	1/72 バストール	1983	43x31.5	水彩/紙
135	石橋 謙一	1/144 水中型ザク	1983	37.5x25.7	ガッシュ/紙
136	開田 裕治	1/72 レプラカーン	1984	48.7x35	水彩/紙
137	作家不明	銀河マシン 6号	1984	38x64	水彩/紙
138	小池 繁夫	オペレーションオメガ	1984	31x46.3	水彩/紙
139	石橋 謙一	1/144 ヘビーメタル パルブド	1984	36.4x25.7	ガッシュ/紙
140	石橋 謙一	1/144 ヘビーメタル グルーン	1984	36.4x25.7	ガッシュ/紙
141	石橋 謙一	1/60 ゼータガンダム	1985	51.5x36.4	ガッシュ/紙
142	石橋 謙一	メタル アーマー ドラグナー D-1	1987	51.5x36.4	ガッシュ/紙
143	石橋 謙一	メタル アーマー XD-03「ドラグナー3型」	1987	51.5x36.4	ガッシュ/紙
144	開田 裕治	1/144 リック・ドム II	1989	50.2x35.2	水彩/紙
145	開田 裕治	1/144 ハイ・ゴッグ	1989	35.5x50.2	水彩/ボード
146	作家不明	スターガオガイガー/ガトリングドライバー	1999	42x59	水彩/紙
147	小池 繁夫	1/72 ジェットビートル	2003	23.5x35.6	水彩/紙
148	小池 繁夫	1/144 ウルトラホーク1号	2003	25.8x37.4	水彩/紙
149	・キャラクターデザイン:カトキ ハジメ ・オリジナル3Dモデリング:森 康浩 ・フィニッシュワーク:有井 伸孝	1/100 MZV-747-J テムジン 747J	2004		CG(コンピューターグラフィックス)
150	・キャラクターデザイン:カトキ ハジメ ・オリジナル3Dモデリング:森 康浩 ・フィニッシュワーク:有井 伸孝	1/100 MZV-36T-H アファームド・ザ・ハッター	2005		CG(コンピューターグラフィックス)

3. 1. 3. 京都国立近代美術館所蔵名品展 日本画 100 年のきらめき 〈栖鳳・大観・春草・松園そして福田平八郎・加山又造・平山郁夫〉

概要 明治時代を迎え、洋画が急速に導入される一方、フェノロサ、岡倉天心を中心とした新日本画運動も勢いを増し、日本画も新しい方向へと向かった。

明治末以降は、院展で大観、春草らを軸に速水御舟らが活躍、官設展(文展など)では、栖鳳以下、上村松園、福田平八郎らが活躍し、さらに京都では大正時代に設立され、昭和初期まで続いた国画創作協会において土田麦僊、小野竹喬らの新世代の作家達の活動が注目を集めた。戦後では、創造美術の秋野不矩、加山又造らに代表される戦後に本格的に活躍をはじめめる世代が台頭する一方、日展や院展などでは広汎にわたる作家達が、多彩な作品を発表していった。

本展では、本市名誉市民福田平八郎ゆかりの京都画壇を中心に、こうした作家達の輝かしい活躍の跡を、京都国立近代美術館所蔵の名品 60 余点により紹介した。

会 期 平成 18 年 10 月 6 日(金)～11 月 19 日(日)

主 催 大分市美術館、京都国立近代美術館、大分合同新聞社

後 援 NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 62 件 73 点

観覧者数 10,209 人

観覧料 一般 1000 (800) 円／高大生 700 (500) 円、中学生以下無料

※ () 内は 20 名以上の団体料金

関連行事 ■講演会 (無料)

日 時 10 月 14 日(土) 午後 2 時～4 時

講 師 島田康寛氏(美術評論家)

演 題 近代日本画の展開 京都画壇を中心に 参加者 87 人

■美術館職員による展示解説 (要観覧料)

日 時 10 月 7 日(土)、21 日(土)、会期中毎週水曜日 午後 2 時～

参加者 142 人

■映画上映会 (無料)

日 時 10 月 8 日(日)、22 日(日)、29 日(日)、11 月 12 日(日)

午後 1 時 30 分～

内 容 (1)横山大観 (2)壁画よみがえる 参加者 115 人

印刷物 ・ポスターB2版・チラシA4版

関連記事 「日本画進化の軌跡」『大分合同新聞』夕刊 10 月 6 日

「日本画 100 年のきらめき 1～5」『大分合同新聞』夕刊 10 月 9 日～13 日

「多彩なきらめき 日本画 100 年展」『大分合同新聞』夕刊 10 月 19 日

「近代の名品 時代を追って展示」『西日本新聞』10 月 21 日

「融和する伝統と革新 日本画 100 年のきらめき展」『大分合同新聞』10 月 23 日

(担当 宮崎)

1、近代日本画のあけぼの

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
1	幸野 棹嶺	春秋蛙合戦図	1864 頃	45×86.5	絹本着色
2	田能村直入	春夏山水図	春:1901 夏:1903	春:138.4×51.2 夏:137.5×52.3	絹本着色
3	谷口 香	雲母坂春宵・板敷山秋晩図	1913	(各) 108×40.7	絹本墨画
4	菊池 芳文	桜花群鴉(ぐんあず)図	1903 頃	157.5×84	絹本墨画淡彩
5	竹内 栖鳳	羅馬古城図	1901	126.8×51.5	絹本墨画淡彩
6	竹内 栖鳳	若き家鴨	1937	各 171×184	紙本着色
7	山元 春拳	春夏秋冬	1913	(各) 171.5×86.4	絹本着色
8	千種 掃雲	海女	1908	173×115	絹本着色
9	横山 大観、 菱田 春草	帰路・入船	1902	(各) 124.0×49	絹本着色
10	横山 大観	山路	1911 頃	159.6×70.9	絹本着色

2、国画創作協会とその周辺

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
11	入江 波光	釣舟(風浪漁舟)	1939	39×59	紙本墨画淡彩
12	村上 華岳	観音之図(聖蓮華(しょうれんげ))	1930	132×31.3	紙本墨画淡彩
13	榊原 紫峰	白蓮図	1928 頃	77×86	絹本着色
14	土田 麦僊	鶉	1926	54.5×75.2	絹本着色
15	小野 竹喬	村道(北国の田舎道)	1923	244×187	絹本着色
16	伊藤 草白	島	1918	109.7×139	絹本着色
17	吹田 草牧	ポジリポの漁家	1923	72.5×88	絹本着色
18	新見 虚舟	海苔乾す早春	1927	87.5×129	紙本着色
19	粥川 伸二	長崎懐古(紅毛人遊興図のうち)	1926	33.6×42.7	紙本着色
20	野長瀬 晩花	夕陽に帰る漁夫	1920	187×382	紙本着色
21	秦 テルヲ	眠れる児	1923 頃	62.5×91.8	キャンバス・着色
22	甲斐庄楠音	裸婦	1921 頃	65×38.6	絹本着色
23	梶原緋佐子	矢場	1926	248×111.5	絹本着色

3、官展・院展の新世代

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
24	堂本 印象	訶梨帝母(かりていも)	1922	中央:218.0× 166.0 左右:(各) 225.0 ×61.5	絹本着色

25	速水 御舟	秋茄子と黒茶碗	1921	28.0×25	絹本着色
26	小茂田青樹	双鳩図	1920頃	54.5×42.5	絹本着色
27	西村 五雲	曲馬	1927頃	48.5×56.5	絹本着色
28	橋本 閑雪	意馬心猿	1928	230×236	絹本着色
29	西山 翠嶂	秣（まぐさ）	1920	204.5×129.5	絹本着色
30	上村 松園	舞仕度	1914	170×202	絹本着色
31	富岡 鉄斎	東坡赤壁遊図	1922	145×40	紙本淡彩
32	富田 溪仙	清水秋酣図	1932頃	134.5×42.1	絹本着色
33	平福 百穂	高原	1931	72×92	紙本着色
34	池田 洛中	公園夏日	1933	140×202.5	絹本着色
35	三輪 晁勢	滞船	1935	174×169	絹本着色
36	小林 柯白	湖畔初夏	1933	(各) 165.5×184	絹本着色
37	安田 靱彦	源氏拳兵（頼朝）	1941	158×68	紙本着色
38	小林 古径	琴	1927	111.8×41.8	絹本着色
39	菊池 契月	朝爽	1937	149.8×72.1	絹本着色
40	鏑木 清方	たけくらべの美登利	1940	58×72.8	絹本着色
41	福田平八郎	鯉魚図	1931	56.2×71.6	絹本着色
42	福田平八郎	清晨	1935	141.5×51	絹本着色
43	福田平八郎	竹	1942	55.2×76.8	絹本着色
44	福田平八郎	花菖蒲	1934	145×82.8	絹本着色
45	福田平八郎	鮎	1950	42.5×65.5	紙本着色
46	福田平八郎	花の習作	1961	122.6×100	紙本着色

4、戦後の展開

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	技法・素材
47	小野 竹喬	奥の細道句抄絵 田一枚植 ゑて立ち去る柳かな	1976	59×90	紙本着色
48	小野 竹喬	奥の細道句抄絵 あかあかと日は 難面(つれなく)もあきの風	1976	59.0×90	紙本着色
49	徳岡 神泉	蕪(かぶら)	1958	62.3×45.6	紙本着色
50	宇田 荻邨	夕涼	1956	85×106	絹本着色
51	北沢 映月	A夫人	1966	130×147	紙本着色
52	小倉 遊亀	舞妓	1969	158×133	紙本着色
53	森田 曠平	惜春(盲目物語より)	1986	171.6×363.4	紙本着色
54	安田 靱彦	富士朝暎(ちょうとん)	1974	41.6×32.4	絹本着色
55	平山 郁夫	画禅院青邨先生還浄(げん じょう)図	1979	(各) 171.2× 366.3	紙本着色
56	麻田 鷹司	鳥のいる作品	1953	153×206	紙本着色
57	秋野 不矩	カミの泉II	1976	124×256	紙本着色
58	加山 又造	黄山湧雲	1982	174.2×419.2	紙本墨画
59	吉岡 堅二	野火	1975	175.8×170	紙本着色
60	広田 多津	想	1988	150×110	紙本着色
61	石本 正	聴	2000	101.6×77.6	紙本着色・額
62	下村良之介	さす	1959	155×92.5	板、紙粘土、着色

3. 1. 4. 生誕 100 周年記念 佐藤敬展-新たな創造を求めて・ピカソとの出会い-

- 概要** 本展では、これまで紹介されることのなかった新制作派協会設立前後の作品を中心に、戦中戦後の日本洋画壇に大きな刺激を送りつづけた郷土出身の洋画家佐藤敬の特筆すべき業績を紹介した。
- 会期** 平成 18 年 12 月 1 日（金）～平成 19 年 2 月 5 日（月）
- 主催** 大分市美術館、大分合同新聞社
- 後援** NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分
- 助成** 財団法人 地域創造
- 出品点数** 86 点
- 観覧者数** 5,245 人
- 観覧料** 一般 800（600）円／高大生 600（400）円、中学生以下無料
※（ ）内は 20 名以上の団体料金
- 関連行事** ■講演会（無料）
- ①日 時 12 月 1 日（金）午前 10 時 30 分～12 時 30 分
講 師 岸井 眞弓氏（佐藤敬の長女）
演 題 父との思い出 参加者 95 人
- ②日 時 1 月 13 日（土）午後 1 時 30 分～3 時 30 分
講 師 東京文化財研究所 情報企画部 文化財アーカイブズ研究室長
山梨 絵美子氏
演 題 佐藤敬の画業—近代的形象をもとめて 参加者 79 人
- 岸井眞弓氏ギャラリートーク（要観覧料）
日 時 2 月 5 日（月）午後 2 時～3 時
講 師 岸井 眞弓氏（佐藤敬の長女） 参加者 80 人
- 美術館職員による展示解説（要観覧料）
日 時 毎週水曜日 午後 2 時～ 参加者 94 人
- 印刷物** ・ポスターB2 版、チラシ A4 版、図録 A4 版 38 頁
- 関連記事** 「初期作を中心にきょうから佐藤敬展」『大分合同新聞』 12 月 1 日
（抜粋） 「「父・佐藤敬」を語る」『大分合同新聞』夕刊 12 月 4 日
「生誕 100 周年記念「佐藤敬展」から（1）～（4）」『大分合同新聞』夕刊
12 月 13 日～12 月 16 日
- （担当 岩尾）

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	佐藤敬	ベラスケス 模写	1928	80 × 60.5	油彩・キャンバス
2	佐藤敬	若き男の像	1929	92 × 73	油彩・キャンバス
3	佐藤敬	セーラー服の少女	1930	109 × 80	油彩・キャンバス
4	佐藤敬	la jonc	1930-34 頃	27.5 × 39.5	水彩・紙
5	佐藤敬	ツリコ・ヴェールの子供	1930-34	64.8 × 50.2	油彩・キャンバス
6	佐藤敬	ドン・キホーテ	1931	44.5 × 37	油彩・キャンバス
7	佐藤敬	婦人像 (窓際)	1931	162 × 114	油彩・キャンバス
8	佐藤敬	レ・クルン	1932	162 × 130	油彩・キャンバス
9	佐藤敬	Notre Dame du Paris (パリのノートルダム)	1932 頃	54 × 64	油彩・キャンバス
10	佐藤敬	独唱	1936	197 × 265	油彩・キャンバス
11	佐藤敬	制作	1936	197 × 265	油彩・キャンバス
12	佐藤敬	水の姿勢	1937	195 × 265	油彩・キャンバス
13	佐藤敬	亜土	1937	17.5 × 14.5	油彩・キャンバス
14	佐藤敬	月	1938	194 × 130	油彩・キャンバス
15	佐藤敬	雪	1938	193 × 124	油彩・キャンバス
16	佐藤敬	水災に就いて	1939	197 × 268	油彩・キャンバス
17	佐藤敬	暁	1940	130. 5 × 193. 6	油彩、キャンバス
18	佐藤敬	三人の家族	1940	145. 5 × 112. 1	油彩・キャンバス
19	佐藤敬	少女半身	1940	72.7 × 53.1	油彩・キャンバス
20	佐藤敬	母子	1940	73 × 60	油彩・キャンバス
21	佐藤敬	中国の風景 (3)	1941 頃	24.5 × 34.5	インク・パステル・紙
22	佐藤敬	漠門にて	1941	29.5 × 23	インク・パステル・紙
23	佐藤敬	玄武湖にて	1941	27 × 42.5	インク・パステル・紙
24	佐藤敬	中国の風景 (4)	1941	25 × 36	インク・パステル・紙
25	佐藤敬	安陸前線	1941	72 × 92	油彩・キャンバス
26	佐藤敬	南京光華門	1941	61 × 73	油彩、キャンバス
27	佐藤敬	安陸戦址	1941	62 × 87	油彩・キャンバス
28	佐藤敬	雨期来る (マニラ)	1942	31 × 41	油彩・キャンバス
29	佐藤敬	クラークフィールド攻撃	1942	53 × 44	油彩・キャンバス
30	佐藤敬	蟬の羽 (バリタワック)	1943	73 × 53	油彩・キャンバス
31	佐藤敬	印度少女	1943	72.5 × 53.2	油彩・キャンバス
32	佐藤敬	眞弓	1943	40.8 × 31.5	油彩・キャンバス
33	佐藤敬	裸婦	1945 頃	高さ 7 × 径 13	陶器
34	佐藤敬	裸婦	1945 頃	高さ 7 × 径 13	陶器
35	佐藤敬	Ado in Beppu	1946	60.6 × 45.5	油彩・キャンバス
36	佐藤敬	枯葉	1946	73 × 53	油彩・キャンバス
37	佐藤敬	肖像 A	1946	73 × 53	油彩・キャンバス
38	佐藤敬	幕間	1947	73 × 53	油彩・キャンバス

39	佐藤敬	セーヌの橋	1947 頃	41 × 32	油彩・キャンバス
40	佐藤敬	眞弓	1947 頃	41 × 32	油彩・キャンバス
41	佐藤敬	(絵手紙)	1947	22 × 82	水彩・紙
42	佐藤敬	裸婦	1947	65 × 90	油彩・キャンバス
43	佐藤敬	パンを持つ子	1948	61 × 46	油彩・キャンバス
44	佐藤敬	裸婦 (A)	1948	64.8 × 90.8	油彩・キャンバス
45	佐藤敬	花輪	1948	70 × 52	油彩・キャンバス
46	佐藤敬	金魚	1949	73 × 61	油彩・キャンバス
47	佐藤敬	少女像 (仮題)	1949	40.8 × 31.2	油彩・キャンバス
48	佐藤敬	眞弓	1940 年代	24.5 × 16.5	水彩・墨・紙
49	佐藤敬	デッサン (眞弓)	1940 年代	21 × 25	水彩・墨・紙
50	佐藤敬	円い顔	1950	53 × 41	油彩・キャンバス
51	佐藤敬	美子	1950	22 × 22	インク・パステル・紙
52	佐藤敬	美子	1950	20.8 × 19.5	水彩・紙
53	佐藤敬	母子	1950	80 × 60	油彩、キャンバス
54	佐藤敬	LE DANS	1950	218. 2 × 290. 9	油彩、キャンバス
55	佐藤敬	ピアノと子供	1951	130 × 162	油彩、キャンバス
56	佐藤敬	浴場	1952	130 × 160	油彩・キャンバス
57	佐藤敬	裸婦	1952	73 × 91	油彩・キャンバス
58	佐藤敬	巴里の裏町	1956	32.5 × 50	グワッシュ・パステル・紙
59	佐藤敬	オテル・ド・ヴィル (巴里)	1956	32 × 41	グワッシュ・パステル・紙
60	佐藤敬	サン・ドニイ風景	1956	49 × 64	グワッシュ・パステル・紙
61	佐藤敬	毘	1961	92 × 73	油彩・キャンバス
62	佐藤敬	グワッシュ '62	1962	24 × 31	グワッシュ
63	佐藤敬	夜は漂う	1963	53 × 65	油彩、キャンバス
64	佐藤敬	化石	1964	60 × 73	油彩、キャンバス
65	佐藤敬	アイコン	1964	9 × 6.5	油彩・板
66	佐藤敬	空間の歴史 (黒)	1965	162. 3 × 130. 2	油彩、キャンバス
67	佐藤敬	皿のデザイン	1966	18 × 18	水彩・紙
68	佐藤敬	凝結波	1966	195 × 130	油彩、キャンバス
69	佐藤敬	二重空間	1970	8.5 × 11	油彩・キャンバス
70	佐藤敬	青のグワッシュ	1972	13.5 × 30	グワッシュ
71	佐藤敬	グワッシュ	1973	24 × 32.5	グワッシュ
72	佐藤敬	空間の通力	1973	116 × 179	油彩・キャンバス
73	佐藤敬	Gouauche '73	1973	24 × 31.5	グワッシュ・紙
74	佐藤敬	古墳	1974	23 × 31	グワッシュ
75	佐藤敬	朝	1974	22 × 17.5	油彩・キャンバス
76	佐藤敬	昼	1974	22 × 17.5	油彩・キャンバス
77	佐藤敬	朝	1975	60 × 73	油彩・キャンバス
78	佐藤敬	墨彩	1978	24 × 33	墨・グワッシュ・紙

79	佐藤敬	影中古墳	1978	24 × 32	グワッシュ
80	佐藤敬	赤のグワッシュ	1978	33 × 50	グワッシュ
81	佐藤敬	遙かなる時間	1978	51 × 33	グワッシュ・墨・和紙
82	佐藤敬	墨彩	1978	24 × 33	グワッシュ・墨・紙
83	藤田嗣治	佐藤美子	1930 頃	18.5 × 12	水彩・紙
84	藤田嗣治	佐藤敬・美子	1944 頃	17.5 × 20	淡彩・紙
85	猪熊弦一郎	眞弓像	1945 頃	24.5 × 30.5	淡彩・紙
86	ピカソ	女の顔	1952 頃	高さ 53 × 径 27	陶器

3. 1. 5. ハウステンボス美術館所蔵品による エッシャーの不思議な世界

概要 本展では、オランダを代表する作家のひとりとして位置づけられるエッシャーの不思議な世界の魅力の全貌をハウステンボス美術館が所蔵するコレクションの中から、厳選した作品と関連資料により紹介した。

会期 2007年2月17日(土)～3月25日(日)

主催 大分市美術館、ハウステンボス美術館

後援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 171点

観覧者数 18,819人

観覧料 一般 800(600)円／高大生 600(400)円、中学生以下無料
※()内は20名以上の団体料金

関連行事 ■講演会 (無料)

日時 平成19年2月17日(土) 午後2時～3時30分

講師 大田慶子氏(ハウステンボス美術館 学芸員)

演題 エッシャーの作品とその魅力について

参加者 120人

■美術館職員による展示解説 (要観覧料)

日時 会期中毎週水曜日 午後2時～

参加者 157人

印刷物 ・ポスターB2版・チラシA4版

関連記事 「不思議世界だまし絵の妙」『大分合同新聞』夕刊2月17日、
「だまし絵の世界楽しんで」『読売新聞』朝刊3月1日、
「いつも新鮮な驚き 大田学芸員が講演」『大分合同新聞』夕刊3月1日、
「だまされる快感」『大分合同新聞』朝刊3月19日

(担当 大神)

番号	作品名	制作年	寸法(mm)	素材・技法
1	自画像	1917	216 × 131	リノカット
2	赤ん坊	1917	93 × 110	リノカット
3	人物の習作	1920	490 × 350	ドローイング

4	聖堂のパイプオルガン	1920	635 × 475	ドローイング
5	椅子に座っている自画像	1920	195 × 168	板目木版
6	兎	1920	176 × 368	板目木版
7	香水	1921	120 × 90	板目木版
8	マントン近くの木立	1921	283 × 353	板目木版
9	八つの頭	1922	325 × 340	板目木版
10	イルカ	1923	291 × 492	板目木版
11	天地創造の二日目	1925	279 × 374	板目木版
12	ソベリカ (コルシカ)	1928	505 × 655	ドローイング
13	ヴォルトウルノの聖ヴィンセント修道院	1929	483 × 660	ドローイング
14	ゲネツザノ	1929	608 × 457	ドローイング
15	妻、イエッタ・エッシャー (ウミカー) の肖像	1929	267 × 217	ドローイング
16	バルバラノ (チミノ)	1929	176 × 236	リトグラフ
17	スカノの通り (アブルッツィ)	1930	627 × 431	リトグラフ
18	モラノ (カラブリア)	1930	240 × 321	板目木版
19	ペンテダッティロ (カラブリア)	1930	197 × 255	リトグラフ
20	フィオマーラ (カラブリア)	1930	227 × 299	リトグラフ
21	スティロのカトリック教会 (カラブリア)	1930	226 × 297	リトグラフ
22	ツィッラ (カラブリア)	1931	297 × 226	リトグラフ
23	トロペア (カラブリア)	1931	313 × 235	リトグラフ
24	サンタ・セヴェリナ (カラブリア)	1931	232 × 310	リトグラフ
25	アトラニの地下通路 (アマルフィ海岸)	1931	180 × 129	木口木版
26	アトラニの荒れ果てた家々 (アマルフィ海岸)	1931	308 × 226	リトグラフ
27	蜘蛛の巣	1931	179 × 138	板目木版
28	『24の寓意画』	1931	177 × 138	板目木版
29	『24の寓意画』の目次	1931	180 × 140	板目木版
30	凧	1931	180 × 96	板目木版
31	花	1931	180 × 135	板目木版
32	日時計	1931	180 × 140	板目木版
33	花瓶	1931	180 × 140	板目木版
34	鉄床	1931	180 × 140	板目木版
35	ブイ	1931	180 × 140	板目木版
36	やしの木	1931	180 × 140	板目木版
37	日時計	1931	180 × 140	板目木版
38	蒸気ローラー	1931	180 × 140	板目木版
39	火打ち石	1931	180 × 140	板目木版
40	ろうそくの火	1931	180 × 140	板目木版
41	標識	1931	180 × 140	板目木版
42	蜜蜂の巣箱	1931	180 × 140	板目木版
43	リス	1931	180 × 140	板目木版
44	キノコ	1931	180 × 140	板目木版
45	天秤	1931	180 × 140	板目木版
46	サイコロ	1931	180 × 140	板目木版

47	サボテン	1931	180 × 140	板目木版
48	井戸	1931	180 × 140	板目木版
49	隠れ家	1931	180 × 140	板目木版
50	じょうろ	1931	180 × 140	板目木版
51	南京錠	1931	180 × 140	板目木版
52	『スコラ哲学者の恐怖の冒険』の挿絵 (5ページ)	1931	229 × 168	板目木版
53	同上(11ページ)	1931	229 × 168	板目木版
54	同上(15ページ)	1931	229 × 168	板目木版
55	同上(19ページ)	1931	229 × 168	板目木版
56	同上(21ページ)	1931	229 × 168	板目木版
57	同上(25ページ)	1931	229 × 168	板目木版
58	サン・コシモ(ラヴェッロ)	1932	313 × 222	リトグラフ
59	トゥレッコの村(南イタリア)	1932	311 × 225	リトグラフ
60	マリア病院の玄関(ラヴェッロ)	1932	269 × 211	木口木版
61	ラヴェッロ広場のライオン噴水	1932	213 × 323	リトグラフ
62	サン・ミケーレ・デイ・フリゾーネ(ローマ)	1932	435 × 491	リトグラフ
63	モラ城とエトナ山(シシリー)	1932	225 × 310	リトグラフ
64	やしの木	1933	397 × 397	木口木版2色刷
65	ブロンテ付近のエトナ山(から流出した古い溶岩) (シシリー)	1933	217 × 307	リトグラフ
66	マドニエ山脈のカルタブトゥロ(シシリー)	1933	229 × 308	リトグラフ
67	1928年にエトナ山から流出した溶岩 (シシリー)	1933	212 × 313	リトグラフ
68	カルピの松林	1933	357 × 468	板目木版
69	夜のローマ小さな教会(ヴェネツィア広場)	1934	242 × 320	木口木版
70	雪景色上の飛行機	1934	300 × 320	板目木版
71	写像球体を持つ手	1935	318 × 213	リトグラフ
72	サン・ピエトロ寺院の内部(ローマ)	1935	237 × 316	木口木版
73	バッタ	1935	181 × 242	木口木版
74	コガネムシ	1935	180 × 240	木口木版
75	サングレーア(マルタ)	1935	310 × 460	板目木版
76	救命艇	1936	312 × 238	ドローイング
77	義母、サラグライヒマンの肖像	1935	275 × 227	ドローイング ブラックとクレヨンと鉛筆
78	サン・ピエトロ寺院とシスティナ礼拝堂の間	1936	311 × 220	リトグラフ
79	静物と街路	1937	487 × 490	板目木版
80	聖マタイ受難のプログラム	1938	153 × 104	板目木版
81	昼と夜	1938	391 × 677	板目木版
82	三男ヤン・エッシャーの誕生通知カード	1938	117 × 77	板目木版
83	空と水 I	1938	435 × 439	板目木版
84	発展 II	1939	455 × 455	板目木版

85	蔵書票 D. H. ロードハウゼン	1942	80 × 60	木口木版
86	メタルフォーゼⅡ	1940	192 × 389 5	板目木版
87	自画像	1943	255 × 255	スクラッチドローイング
88	爬虫類	1943	334 × 385	リトグラフ
89	蔵書票 A. M. E. ファン・ディスフック	1943	80 × 60	木口木版
90	出会い	1944	342 × 464	リトグラフ
91	《平面の正則分割》の習作	1941	244 × 240	水彩 インク
92	《平面の正則分割》の習作	1942	178 × 280	水彩 インク
93	《平面の正則分割》の習作	1944	265 × 202	水彩 インク
94	《平面の正則分割》の習作	1953	190 × 195	水彩 インク
95	三つの球体Ⅰ（試作）	1945	279 × 169	木口木版
96	臨時アカデミーの修了証書	1945	342 × 240	板目木版
97	蔵書票 J. C. デ・ブラウン	1946	80 × 60	木口木版
98	騎手	1946	239 × 449	板目木版
99	年賀状	1946	118 × 101	板目木版
100	上と下	1947	503 × 205	リトグラフ
101	露滴	1948	179 × 245	メゾチント
102	太陽と月	1948	251 × 270	板目木版
103	クリスタル	1947	134 × 173	メゾチント
104	星	1948	320 × 260	木口木版
105	《貝殻》の習作	1949	108 × 157	ドローイング
106	貝殻	1949	160 × 109	メゾチント
107	馬と鳥	1949	87 × 72	木口木版
108	二重の惑星	1949	直径 374	木口木版
109	対照（秩序と混沌）	1950	280 × 280	リトグラフ
110	波紋	1950	260 × 320	リノカット
111	写像球体の自画像	1950	直径 82	板目木版
112	二つの交わる平面	1952	224 × 310	板目木版
113	水たまり	1952	240 × 319	板目木版
114	四人のグラフィックアーティスト	1952	101 × 77	板目木版
115	地、年賀状	1952	155 × 135	板目木版
116	空、年賀状	1952	154 × 134	板目木版
117	火、年賀状	1952	156 × 135	板目木版
118	水、年賀状	1952	155 × 135	板目木版
119	立方体による空間分割	1952	266 × 266	リトグラフ
120	同心状の球面片	1953	241 × 241	木口木版
121	ロバの E	1953	97 × 65	木口木版
122	外皮	1955	190 × 280	ドローイング
123	四面体の小惑星	1954	430 × 430	板目木版
124	凹凸	1955	275 × 335	リトグラフ
125	秩序と混沌Ⅱ	1955	直径 272	リトグラフ
126	深み	1955	320 × 230	木口木版・板目木版

127	三つの世界	1955	362 × 247	リトグラフ
128	魚	1955	88 × 77	板目木版
129	ろうそくの火	1956	128 × 88	板目木版
130	婚姻の絆	1956	253 × 339	リトグラフ
131	版画画廊	1956	319 × 317	リトグラフ
132	徐々に小さく（中心部の試摺り）	1956	190 × 190	木口木版・板目木版
133	立方体とマジックリボン	1957	275 × 335	リトグラフ
134	平面の正則分割	1957	240 × 180	板目木版
135	平面の正則分割	1957	240 × 180	板目木版
136	平面の正則分割	1957	240 × 180	板目木版
137	平面の正則分割	1957	240 × 180	板目木版
138	平面の正則分割	1957	240 × 180	板目木版
139	平面の正則分割	1957	240 × 180	板目木版
140	平面充填Ⅱ	1957	315 × 370	リトグラフ
141	渦巻き	1957	438 × 235	木口木版・板目木版
142	ベルベデーレ（物見の塔）	1958	462 × 295	リトグラフ
143	円の極限Ⅰ	1958	直径 418	板目木版
144	扁平虫類	1959	338 × 412	リトグラフ
145	魚とうろこ	1959	378 × 378	板目木版
146	上昇と下降	1960	355 × 285	リトグラフ
147	メビウスの輪Ⅰ	1960	238 × 259	木口木版・板目木版
148	滝	1961	380 × 300	リトグラフ
149	方形の極限	1964	340 × 340	板目木版
150	《蛇》の習作	1969	117 × 93	板目木版
151	バベルの塔	1928	625 × 381	版木
	空中の城	1928	625 × 381	版木
152	花瓶	1931	180 × 140	版木
153	キノコ	1931	180 × 140	版木
154	チョウ	1931	177 × 140	版木
155	年賀状	1946	118 × 110	版木
156	騎手	1946	222 × 452	版木
157	騎手	1946	230 × 452	
158	騎手	1946	243 × 452	
159	切手（10セント、20セント）	1949	各 25 × 25	グラビア印刷
160	フェルブリファ缶	1963	140 × 140	ブリキ製
161	魚模様の球体	年代不詳	140 × 140	プラスチック
162	カーペット	年代不詳	228 × 162 0 × 0	毛
163	ゴブラン織のタペストリー	年代不詳	132 × 105 5 × 0	毛
164	詩画集『24の寓意画』	1932	231 × 203	板目木版
165	研究書『平面の正則分割』	1958	350 × 260	書籍
166	作品集『M. C. エッシャーのグラフィック作品とドローイング』のカバー	初版 1959	254 × 513	クロス装丁

167	悪魔（展覧会案内状）	1953	97 × 59	紙
168	木と動物（展覧会案内状）	1954	44 × 99	紙
169	魚（カード詩：H. R. ホルスト）	1954 頃	75 × 82	紙
170	魚（展覧会案内状）	1960	81 × 81	紙
171	立方体を持つ男（展覧会案内状）	1965	64 × 64	紙

3. 2. 常設展

3. 2. 1. 第1期常設展

平成18年4月25日（火）～7月9日（日）

（常設展示室2 前期：5月28日（日）まで、後期：5月30日（火）より）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 大分の日本画家／京都画壇

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	岩澤 重夫	由布岳	制作年不詳	65.0×91.0	紙本着色	
2	正井 和行	憶昔	1992（平成4）	65.2×90.9	紙本着色	
3	福田平八郎	鯉	1943（昭和18）	48.0×72.0	絹本着色	
4	福田平八郎	紅梅	1941（昭和16）頃	54.5×34.2	紙本着色	
5	福田平八郎	鮎	1950（昭和25）	42.0×56.0	絹本着色	
6	小嶋 悠司	地	1987（昭和62）	169.0×309.0	麻布着色	
7	箱崎 睦昌	早瀬	1998（平成10）	181.0×581.0	紙本着色	
8	皆川 千恵子	坐像	制作年不詳	120.0×83.5	紙本着色	
9	林 潤一	懸瀑桑木	1993（平成5）	168.0×185.0	紙本着色	
10	林 潤一	懸河菊池	1993（平成5）	168.0×185.0	紙本着色	
11	林 潤一	懸流吹割	1993（平成5）	168.0×185.0	紙本着色	
12	林 潤一	懸泉白水	1993（平成5）	168.0×185.0	紙本着色	
13	渡辺 信喜	林檎	1985（昭和60）	167.8×184.6	紙本着色	
14	村田 茂樹	樹 間	1993（平成5）	165.0×504.0	紙本着色	
15	森田 曠平	立木観世音	1988（昭和63）	205.0×205.0	紙本着色	
16	八田 哲	姫路城秋雨	1990（平成2）	75.1×91.0	紙本着色	
17	八田 哲	深緑の城	1990（平成2）	53.0×72.8	紙本着色	
18	八田 哲	春の雨（松本城）	1990（平成2）	73.0×116.7	紙本着色	
19	八田 哲	松本の城	1990（平成2）	73.6×89.2	紙本着色	
20	八田 哲	夜の城	1990（平成2）	53.0×72.8	紙本着色	
21	八田 哲	彦根城薄暮	1990（平成2）	53.0×72.8	紙本着色	
22	八田 哲	山の城（大野城）	1990（平成2）	65.0×81.0	紙本着色	
23	八田 哲	平戸城暮色	1990（平成2）	53.0×72.8	紙本着色	
24	八田 哲	黒き城（熊本城）	1990（平成2）	75.1×91.0	紙本着色	
25	堀 泰明	西域紀行・家族	1988（昭和63）	185.0×230.0	紙本着色	
26	堀 泰明	西域紀行・踊子	1988（昭和63）	185.0×230.0	紙本着色	
27	田近 竹邨	寒柯帰漁図	1921（大正10）	128.5×88.5	紙本墨画淡彩	
28	平野 古桑	雨後観瀑図・青山紅樹図	1924（大正13）	各173.0×52.3	絹本着色	
29	牧 皓堂	山水図	制作年不詳	136.0×32.0	紙本墨画淡彩	
30	高倉 観崖	長江春嵐・空山凍雲	1936（昭和11）	各143.0×28.0	絹本墨画淡彩	
31	幸松 春浦	風雨渡江	1925（大正14）	44.5×120.7	紙本墨画淡彩	
32	草刈 樵谷	梅花書屋図屏風	1927（昭和2）	151.8×354.6	紙本墨画淡彩	
33	首藤 雨郊	村の秋晴れ	1930（昭和5）	227.0×186.0	紙本着色	

【高山辰雄記念室】

1	高山 辰雄	堇とコップ	1956（昭和31）	42.0×59.5	紙本着色	
2	高山 辰雄	卵	1950（昭和25）頃	27.2×35.9	紙本着色	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
3	高山 辰雄	赤い服の女	1950 (昭和25)	49.4×57.6	絹本着色	
4	高山 辰雄	風景	1950 (昭和25) 頃	38.4×61.0	紙本着色	
5	高山 辰雄	沼にうつる	1955 (昭和30)	48.5×72.6	紙本着色	
6	高山 辰雄	夕	1955 (昭和30)	64.5×93.7	紙本着色	
7	高山 辰雄	燈	1985 (昭和60)	211.5×139.5	紙本着色	
8	高山 辰雄	黒いもんぺ	1944 (昭和19)	174.2×70.6	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・文人画 富春館記念室

テーマ 田能村竹田と帆足杏雨 (前期)

1	田能村竹田他	書状〔正月19日帆足市弥太宛帆足杏雨/題〕	1825 (文政8) 他	24.3×614.8	紙本墨書	重文
2	田能村竹田	柳陰捕魚図	1828 (文政11) 頃	118.5×42.5	絹本着色	〃
3	帆足杏雨	京游詩画帖	1832-33 (天保3-4) 頃	26.4×31.8	紙本墨画淡彩	
4	帆足杏雨	巴峡蜀船図	1837 (天保3) 頃	143.1×51.7	紙本墨画淡彩	
5	帆足杏雨	松陰自適図	1837 (天保8) 頃	143.3×52.0	紙本墨画淡彩	
6	帆足杏雨	風雨渡江図	1852 (嘉永5)	122.6×57.1	絹本墨画淡彩	
7	帆足杏雨	李青蓮詩意山水図	1854 (嘉永7)	154.8×57.2	絹本墨画淡彩	
8	帆足杏雨	松竹梅書画貼交屏風 (一双)	1864 (元治元)	各隻141.6×326.6	紙本墨画・紙本墨書	
9	甲斐虎山	富岳瑞雲図	1921~38 (大正10~昭和13)	181.1×94.8	紙本着色	
10	平野五岳	翠巖飛泉図	1885 (明治18)	198.0×73.8	紙本墨画	
11	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代 (19世紀後半)	114.5×36.8	絹本着色	
12	高橋草坪	竹林高士図	文政後期 (1826~30) 頃	128.8×51.4	紙本墨画淡彩	
13	浦上春琴	花鳥図	1829 (文政12)	130.9×37.2	絹本着色	
14	中林竹洞	烟江疊嶂図	1829 (文政12)	130.9×37.2	絹本墨画	

テーマ 狩野派の絵画 (後期)

1	狩野探幽	画聖図	1671	119.7×69.3	絹本着色	
2	狩野安信	達磨・龍図 (三幅対)	江戸時代前期	各図104.1×40.8	紙本墨画	
3	狩野典信	遊鹿図	江戸時代中期	154.1×88.1	絹本着色	
4	狩野常信	高士囲碁喫茶図屏風 (一双)	江戸時代前期	各隻171.5×379.4	紙本墨画淡彩	
5	櫛田永養	鷹図屏風 (一双)	江戸時代前期	各隻172.5×185.0	紙本金地墨画着色	
6	狩野永伯	松竹梅に鶴図屏風 (一双)	江戸時代後期	各隻171.5×379.4	紙本金地着色	
7	田能村竹田	騎馬武者図	江戸時代後期	38.5×29.0	紙本淡彩	重文

■常設展示室3 近代・現代の洋画・版画

テーマ 近代洋画の波及—大分を牽引した作家たち—

1	佐藤 敬	月	1938 (昭和13)	194.0×130.0	油彩、キャンバス	
2	佐藤 敬	雪	1938 (昭和13)	193.0×124.0	油彩、キャンバス	
3	佐藤 敬	水の姿勢	1937 (昭和12)	195.0×265.0	油彩、キャンバス	
4	佐藤 敬	雨期来る (マニラ)	1942 (昭和17) 頃	31.0×41.0	油彩、キャンバス	
5	片多徳郎	自画像	1928 (昭和3)	33.0×23.5	油彩、板	
6	片多徳郎	初夏	1923 (大正12)	72.8×60.6	油彩、キャンバス	
7	権藤種男	遊鯉	制作年不詳	80.0×65.0	油彩、キャンバス	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
8	江藤純平	水ヶ浦	1980(昭和55)頃	27.0×45.5	油彩、キャンバス	
9	江藤純平	風景(花畑)	1977(昭和52)頃	38.0×45.0	油彩、キャンバス	
10	江藤純平	菖蒲と睡蓮	1976(昭和51)頃	59.0×119.0	油彩、キャンバス	
11	江藤純平	石仏	1985(昭和60)頃	60.0×51.0	油彩、キャンバス	
12	江藤純平	オリーブの畑	1982(昭和57)	90.5×116.0	油彩、キャンバス	
13	糸園和三郎	金魚と子供	1962(昭和37)	52.0×40.0	油彩、キャンバス	
14	糸園和三郎	四つのビルディング	1974(昭和49)	130.0×97.0	油彩、キャンバス	
15	糸園和三郎	鳥の壁	1963(昭和38)	72.7×60.6	油彩、キャンバス	
16	糸園和三郎	阿仁の丘	1977(昭和52)	112.0×162.0	油彩、キャンバス	
17	糸園和三郎	車椅子の老婦	1982(昭和57)	140.0×130.0	油彩、キャンバス	
18	宇治山哲平	精 No.376	1975(昭和50)	110.8×144.3	油彩、キャンバス	
19	宇治山哲平	No. 309 朝陽	1973(昭和48)	89.5×59.5	油彩、キャンバス	
20	宇治山哲平	阿吽	1972(昭和47)	100.0×100.0	油彩、キャンバス	
21	宇治山哲平	爽	1982(昭和57)	129.6×129.8	油彩、キャンバス	
22	佐藤 敬	空間の歴史(黒)	1965(昭和40)	162.3×130.2	油彩、キャンバス	
23	佐藤 敬	凝結波	1966(昭和41)	195.0×130.0	油彩、キャンバス	

■常設展示室 4 竹工芸
 テーマ 祥雲斎の「造形」

1	生野祥雲斎	怒涛	1960(昭和35)	53×53×73.5	竹・籐	
2	生野祥雲斎	乱菊	1964(昭和39)	133.5×285×50	竹・籐	
3	生野祥雲斎	川	1962(昭和37)	高42 径35	竹・籐	
4	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉Ⅰ	1964(昭和39)	高43 径63	竹	
5	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉Ⅱ	1964(昭和39)	高43 径63	竹	
6	生野祥雲斎	紫竹荒編華籃久寿玉Ⅲ	1964(昭和39)	高43 径63	竹	

3.2.2. 第2期常設展

平成18年9月26日（火）～12月27日（水）

（常設展示室2のみ 前期：11月6日（月）まで 。後期：11月8日（水）から）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 風景画の魅力

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	田淵 俊夫	大地 I	1994 (平成4)	180.0×180.0	紙本着色	
2	田淵 俊夫	大地 II	1994 (平成4)	180.0×180.0	紙本着色	
3	荒井 孝	懸空寺	1985 (昭和60)	168.5×214.5	紙本着色	
4	下保 昭	白夜	1964 (昭和39)	150.0×186.0	紙本着色	
5	中路 融人	爽 晨	1984 (昭和59)	145.6×210.3	紙本着色	
6	小泉 淳作	早春の積丹半島	1986 (昭和61)	127.0×97.0	紙本着色	
7	白井 進	雲	1990 (平成2)	65.2×90.9	紙本着色	
8	箱崎 睦昌	桜島	1988 (昭和63)	210.0×560.0	紙本着色	
9	白井 進	夕照の峰	1990 (平成2)	65.2×90.9	紙本着色	
10	後藤 純男	北国山頂	1963 (昭和38)	72.8×91.0	紙本着色	
11	伊藤深游木	流れる	1991 (平成3)	220.0×161.0	紙本着色	
12	伊藤 彰耳	怡色	1995 (平成7)	180.0×360.0	紙本着色	
13	土屋 禮一	沼	1991 (平成3)	175.0×220.0	紙本着色	
14	下保 昭	知床染雨	1997 (平成9)	各168.0×372.0	紙本着色	
15	高山 辰雄	雲煙に飛翔	2001 (平成13)	174.2×727.2	紙本金砂子墨画	
16	秋野 不矩	民家(フバネシュワール オールドタウンB)	1993 (平成5)	110.0×284.0	紙本着色	
17	白井 進	山	1991 (平成3)	182.0×227.0	紙本着色	
18	釘宮 對岩	流水自帰	1977 (昭和52)	168.0×62.0	紙本墨画	
19	釘宮 對岩	作品C-5 (崖下の小鳥)	1982 (昭和57)	92.5×74.0	紙本墨画	
20	平松 礼二	路・三月の雨	1993 (平成5)	175.0×136.4	紙本着色	
21	南 聡	潮	1996 (平成8)	180.0×360.0	紙本着色	
22	吉川 優	玲瓏秋月望	1995 (平成7)	130.0×170.0	プラチナ紙墨彩	

【高山辰雄記念室】

1	高山 辰雄	襟巻	1949 (昭和24)	51.2×59.0	絹本着色	
2	高山 辰雄	静物	1955 (昭和30)	54.2×72.6	紙本着色	
3	高山 辰雄	夕	1955 (昭和30)	64.5×93.7	紙本着色	
4	高山 辰雄	明けゆく	1958 (昭和33)	55.5×76.5	紙本着色	
5	高山 辰雄	山	1959 (昭和34)	43.4×57.0	紙本着色	
6	高山 辰雄	山の音	1958 (昭和33)	60.5×92.4	紙本着色	
7	高山 辰雄	新雪	1992 (平成4)	224.0×160.0	紙本着色	
8	高山 辰雄	雪	1954 (昭和29)	66.0×87.5	絹本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・文人画 富春館記念室

テーマ 文人のころ—田能村竹田の手紙— (前期)

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	田能村竹田	四季花鳥図 (冬図)	1809 (文化6)	各図130.2×60.7	絹本着色	重文
2	田能村竹田	雁来紅群雀図	1813 (文化10)	129.4×42.4	絹本着色	〃
3	田能村竹田	月下芦雁図屏風	1823 (文政5)	149.7×330.4	紙本墨画	〃
4	田能村竹田	曲溪複嶺図及題詩 (対幅)	1832 (天保3)	各172.0×31.5	紙本淡彩・紙本墨書	〃
5	田能村竹田	書簡1・天保6年8月12日付 田能村如仙宛	1835 (天保6)	22.0×22.3 (封筒 16.0×9.8)	紙本墨書	
6	田能村竹田	書簡2・文政12年6月1日付 田能村太一宛	1829 (文政12)	18.0×7.8、19.5×9.8	紙本墨書	
7	田能村竹田	書簡4・文化8年8月22日付 伊藤鏡河宛	1811 (文化8)	24.5×74.0	紙本墨書	
8	田能村竹田	書簡7・享和元年7月付 伊藤鏡河宛	1801 (享和1)	15.4×28.0	紙本墨書	
9	田能村竹田	書簡13・享和2年春 伊藤鏡河宛	1802 (享和2)	15.2×31.0	紙本墨書	
10	伝田能村竹田	田能村竹田像	1829 (文政12)	129.5×44.0	紙本淡彩	
11	帆足杏雨	老圃秋容図	1848 (嘉永1)	154.8×57.2	絹本墨画着色	
12	帆足杏雨	松竹梅書画貼交屏風 (一双)	1864 (元治1)	各隻141.6×326.6	紙本墨画・紙本墨書	
13	田能村如仙	無腸公子図	不詳	127.0×30.5	紙本墨画	

テーマ 物語る絵画 (後期)

1	帆足杏雨・中澤雪城	秋聲賦及賦意図 (対幅)	1844 (弘化1)・1847 (弘化4)	各136.0×43.0	絹本墨書・絹本墨画淡彩	
2	田能村竹田	絹本淡彩漁樵問答図	1834 (天保5)	128.5×50.3	絹本淡彩	重文
3	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5×36.8	絹本着色	
4	森寛斎	沈香亭図	江戸時代後期	109.0×42.0	絹本着色	
5	作者不詳	源平合戦図屏風 (一双)	江戸時代後期	各隻159.3×374.2	紙本着色	
6	歌川国芳、他	扇面浮世絵貼交屏風	江戸時代中後期	147.5×310.8	紙本銀地着色	
7	作者不詳	源氏物語絵屏風 (一双)	江戸時代後期	各隻100.8×271.0	紙本着色	
8	住吉廣行	勿来関・白河関図 (対幅)	江戸時代後期	各図115.0×49.1	絹本着色	

■常設展示室3 近代・現代の洋画・版画

テーマ 60年代の様相-さまざまな展開-

1	菅井 汲	寒流	1963(昭和38)年	130.0×162.0	油彩、キャンバス	
2	菅井 汲	パーキングB	1969(昭和44)年	250.0×200.0	油彩、キャンバス	
3	草間彌生	Nets	1960(昭和35)年	151.1×106.0	油彩、キャンバス	
4	宮脇愛子	作品	1963(昭和38)年	181.0×120.5	油彩、キャンバス	
5	浅野弥衛	無題	1966(昭和41)年	60.6×72.7	油彩、キャンバス	
6	海老原喜之助	阿蘇	1962(昭和37)年頃	60.7×72.8	油彩、キャンバス	
7	幸 壽	歌声を聞く女達	1967(昭和42)年	162.0×130.0	油彩、キャンバス	
8	江藤純平	ノートルダム風景	1962(昭和37)年頃	145.5×97.0	油彩、キャンバス	
9	江藤純平	赤い屋根	1962(昭和37)年頃	38.0×55.0	油彩、キャンバス	
10	江藤純平	やしのある風景	1962-63(昭和37-38)年頃	98.0×130.0	油彩、キャンバス	
11	糸園和三郎	鳥の壁	1963(昭和38)年	72.7×60.6	油彩、キャンバス	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
12	矢岡 勲	車による(A)	1962(昭和37)年	162.1 × 130.3	油彩、キャンバス	
13	宇治山哲平	No.35	1962(昭和37)年頃	116.7 × 73.0	油彩、キャンバス	
14	田辺三太郎	DRAWING I ①「不調和音音階」のための習作(全体図)	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
15	田辺三太郎	DRAWING I ②「不調和音音階」のための習作(平面図)	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
16	田辺三太郎	DRAWING I ③「不調和音音階」のための習作(側面図)	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
17	田辺三太郎	DRAWING II ④「TORSO OF APPLE1」	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
18	田辺三太郎	DRAWING III ⑤「TORSO OF APPLE2」	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
19	田辺三太郎	DRAWING IV ⑥「LANDSCAPE WITH PRAY」	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
20	田辺三太郎	DRAWING V ⑦「CONCEPTION」	1961/1995(昭和36/平成7)年	76.2 × 56.0	鉛筆、紙	
21	三木富雄	耳	1966(昭和41)年頃	42.0 × 24.5 × 9.0	アルミニウム	
22	吉村益信	VOID	1962(昭和37)年	60.9 × 60.9	石膏、板	
23	吉村益信	タワー・オブ・サダダ	1961(昭和36)年	19.5 × 91.0	石膏、板	
24	吉村益信	HOW TO FLY O	1964(昭和39)年	71.0 × 56.0 × 11.3	石膏、アクリル、モーター、パネル	
25	風倉 匠	夜もまた始まる	1964(昭和39)年	91.0 × 73.5	油彩、キャンバス	
26	風倉 匠	窓を結ぶ	1964(昭和39)年	130.0 × 97.0	油彩、キャンバス	
27	風倉 匠	空隙物語	1962-63(昭和37-38)年	18.2 × 12.0他	デカルコマニー、虫眼鏡他	

■常設展示室 4 竹工芸

テーマ 祥雲斎・束ね編みの技法

1	生野祥雲斎	川	1962(昭和37)	高42 径35	竹・籐	
2	生野祥雲斎	紫竹盛籃 銘 此君	1965(昭和40)	高16 40 × 26.4	竹	
3	生野祥雲斎	くいな笛	1960(昭和35)	高42.8 径7	竹	
4	此君亭工房	竹盆 胡蝶	1961(昭和36)頃	4.8 × 35.8 × 15.7	竹・籐	
5	生野祥雲斎	紫竹蓑虫華籃	1965(昭和40)頃	高22.5 径11.5	竹	
6	大崎聡明	生野祥雲斎竹藝作品集	1974(昭和49)			
7	大崎聡明	梟将を囲んだ写真	1962(昭和37)	102 × 72		
8	大崎聡明	生野祥雲斎肖像写真		51 × 72		
9		大崎聡明肖像写真		51 × 72		
10		生野祥雲斎略歴パネル		51 × 72		
11		大崎聡明略歴パネル		51 × 72		

3.2.3. 第3期常設展

平成19年1月5日（金）～4月22日（日）

（常設展示室2のみ 前期：2月18日（日）まで 。後期：2月20日（火）から）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 大分ゆかりの日本画

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	福田平八郎	羅漢寺	制作年不詳	紙本着色	134.0×54.0	
2	福田平八郎	冬日	1945（昭和20）頃	紙本着色	53.5×39.5	
3	福田平八郎	蜜柑	1956（昭和31）頃	紙本着色	60.6×45.5	
4	渡辺 雲儼	深耶馬溪錦豊	1936（昭和11）	絹本着色	240.0×120.0	
5	渡辺 雲儼	羅漢寺白光	1936（昭和11）	絹本着色	240.0×120.0	
6	池田 栄廣	船出前	1986（昭和61）	紙本着色	176.0×221.0	
7	岩澤 重夫	郷	1987（昭和62）	紙本着色	191.0×180.0	
8	岩澤 重夫	響	1988（昭和63）	紙本着色	191.0×168.0	
9	岩澤 重夫	輝やく峰	1998（平成10）	紙本着色	218.0×144.0	
10	霜鳥 忍	多聞天	1980（昭和55）	紙本着色	227.0×162.0	
11	平山 郁夫	緑韻富貴寺	1997（平成9）	紙本着色	169.2×361.6	
12	林 潤一	懸泉白水	1993（平成5）	紙本着色	168.0×185.0	
13	八田 哲	中津城	1993（平成5）	紙本着色	60.6×80.3	
14	八田 哲	新緑の城	1990（平成2）	紙本着色	53.0×72.8	
15	箱崎 睦昌	情景ブランコ	1982（昭和57）	紙本着色	各図112.0×193.9	
16	今井 文二	卓上	1990（平成2）	紙本着色	162.0×227.0	
17	白須 心華	春景山水	1913（大正2）	絹本着色	135.5×51.0	
18	首藤 雨郊	山水図（三幅対）	1933（昭和8）	紙本墨画淡彩	画120.0×25.3 書120.0×21.5	
19	幸松 春浦	江南晚秋図屏風	1920（大正9）	紙本墨画淡彩	各137.6×354.2	
20	幸松 春浦	雨後鷓鴣図	1927（昭和2）	絹本着色	142.5×51.5	
21	幸松 春浦	寒林棲湮図	制作年不詳	紙本着色	53.5×54.0	
22	福田平八郎	池辺游魚	1923（大正12）頃	絹本着色	140.5×41.5	
23	福田平八郎	鯉	1939（昭和14）	絹本着色	43.2×87.2	
24	高山 辰雄	限りなき大分 1 昔を歩く	1981（昭和56）	リトグラフ	38.0×55.0	
25	高山 辰雄	限りなき大分 2 潮の香	1981（昭和56）	リトグラフ	39.0×55.8	
26	高山 辰雄	限りなき大分 3 雨あがる高原	1981（昭和56）	リトグラフ	38.4×55.6	
27	高山 辰雄	限りなき大分 4 水しずか	1981（昭和56）	リトグラフ	39.5×55.8	
28	高山 辰雄	限りなき大分 5 春を待つ	1981（昭和56）	リトグラフ	38.2×55.0	
29	高山 辰雄	限りなき大分 6 現代のいぶき	1981（昭和56）	リトグラフ	38.0×55.0	
30	高山 辰雄	限りなき大分 7 空に映ゆる	1981（昭和56）	リトグラフ	38.1×54.5	
31	高山 辰雄	限りなき大分 8 明けゆく川	1981（昭和56）	リトグラフ	38.5×54.9	
32	高山 辰雄	限りなき大分 9 道を求めて	1981（昭和56）	リトグラフ	37.5×54.7	
33	高山 辰雄	限りなき大分 10 槌の響	1981（昭和56）	リトグラフ	38.2×55.2	
34	南 聡	珪化木	1992（平成4）	紙本着色	181.8×227.3	
35	正井 和行	発掘	1992（平成4）	紙本着色	190.0×160.0	

【高山辰雄記念室】

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	高山 辰雄	緑の野に	1952 (昭和27)	絹本着色	59.5×71.3	
2	高山 辰雄	猫と玉葱	1957 (昭和32)	紙本着色	55.6×77.1	
3	高山 辰雄	鶉	1955 (昭和30)	紙本着色	67.0×92.5	
4	高山 辰雄	山	1959 (昭和34)	紙本着色	43.4×57.0	
5	高山 辰雄	青い空	1957 (昭和32)	紙本着色	41.2×57.9	
6	高山 辰雄	雨	2003 (平成15)	紙本着色	200.0×140.0	
7	高山 辰雄	道	1961 (昭和36)	紙本着色	45.5×60.6	

■常設展示室2 近世の絵画・南画 (文人画) 富春館記念室

テーマ 春の絵画 (前期)

1	帆足杏雨	李青蓮詩意山水図	1854 (嘉永5)	154.8×57.2	絹本墨画淡彩	
2	平野五岳	桃源図	1862 (文久2)頃	144.5×50.5	紙本墨画淡彩	
3	田能村竹田	桃花流水図	1832 (天保3)	114.0×31.0	紙本淡彩	重文
4	帆足杏雨	梅溪曉鷺図	1834 (天保5)	158.5×45.0	紙本墨画淡彩	
5	平野五岳	梅花書屋図	1877 (明治10)	175.8×95.5	紙本墨画淡彩	
6	平野五岳	梅花書屋図	1846 (弘化3)	112.5×35.5	絹本墨画淡彩	
7	平野五岳	春山書屋図	1863 (文久3)	174.7×60.8	紙本墨画	
8	田能村直入	「四季山水図」のうち 「嵐峽春霽図」	1884 (明治17)	196.5×84.8	紙本着色	
9	田近竹邨	端午節句・御所図屏風 (一双)	1895 (明治28)	各隻179.2×364.8	紙本墨画淡彩	
10	作者不詳	孔雀牡丹桜図屏風(一双)	明治時代	各隻172.5×365.4	紙本金地着色	
11	仇英	春夜宴桃李園図	明時代中期	30.8×200.3	絹本着色	

テーマ 田能村竹田と高橋草坪 (後期)

1	伝田能村竹田	田能村竹田像	1829 (文政12)頃	129.5×44.0	紙本淡彩	
2	田能村竹田	鐘馗図	1822 (文政5)	97.0×27.3	紙本墨画淡彩	
3	田能村竹田	伏水望京図	1823 (文政6)	107.2×26.4	紙本墨画淡彩	
4	田能村竹田	梅花書屋図及題詩 (対幅)	1824 (文政7)	各図112.5×30.5	紙本墨画淡彩 ・紙本墨書	重文
5	田能村竹田	盆卉図	1833 (天保4)	29.3×30.8	紙本淡彩	
6	田能村竹田	月下芦雁図	1823 (文政6)	149.7×330.4	紙本墨画	
7	高橋草坪	鉄騎横行図	江戸時代後期	33.0×26.0	板 墨画淡彩	
8	高橋草坪	黄葉邨舎図	1822~29 (文政5~ 12)頃	128.7×48.6	紙本墨画淡彩	
9	高橋草坪	白梅図	1832 (天保3)	23.2×27.9	紙本墨画	
10	高橋草坪	山水妙清図	1823 (文政6)	110.0×26.8	紙本墨画	
11	高橋草坪	竹林高士図	文政後期頃	128.8×51.4	紙本墨画淡彩	
12	高橋草坪	富貴平安図	1831 (天保2)	21.3×16.0	紙本墨画	
13	十市石谷	花卉図屏風	江戸時代末期	149.8×251.9	紙本墨画淡彩	
14	十市石谷	虎図	江戸時代後期	113.1×51.0	絹本着色	
15	十市石田	花卉図押絵貼交屏風	1890 (明治23)	173.2×188.0	絹本着色	
16	帆足杏雨	梅花山茶花群雀図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本墨画淡彩	
17	帆足杏雨	粉團鳳仙戯鳥図	江戸時代後期	147.2×57.1	紙本墨画淡彩	

■常設展示室3 近・現代の洋画・版画

テーマ 現代版画の多様性-いろいろな技法-/現代洋画 香月泰男、鴨居玲、他

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	風倉 匠	ホワイトクロス	1977(昭和52)	各60.8×46.5	シルクスクリーン	
2	風倉 匠	ニース白書	1992(平成4)	各47.5×31.7	シルクスクリーン	
3	吉村益信	群盲撫象	1972(昭和47)	53.5×108.0	シルクスクリーン	
4	吉村益信	四次元の影としての三次元の影	1983(昭和58)	24.4×27.7	シルクスクリーン	
5	吉村益信	PLUS&MINUS ONE DIMENTION インガキダイ	1975(昭和50)	60.5×44.3	シルクスクリーン	
6	浜田知明	聖馬	1950(昭和25)	21.0×14.8	エッチング	
7	浜田知明	風景	1953(昭和28)	36.2×29.8	エッチング	
8	浜田知明	愛の歌	1957(昭和32)	20.0×19.5	エッチング	
9	浜田知明	風景	1967(昭和42)	36.3×46.1	エッチング	
10	浜田知明	晩年(A)	1972(昭和47)	22.8×15.6	エッチング	
11	浜田知明	長田弘詩集飾画I	1973(昭和48)	7.1×5.1	エッチング	
12	浜田知明	長田弘詩集飾画II	1973(昭和48)	17.0×10.0	エッチング	
13	浜田知明	ボス	1980(昭和55)	27.2×19.5	エッチング	
14	浜田知明	H氏像	1991(平成3)	33.0×24.4	エッチング	
15	駒井哲郎	R夫人像	1950(昭和25)	18.0×15.0	アクワチント	
16	駒井哲郎	東の間の幻影	1951(昭和26)	18.0×29.0	アクワチント	
17	駒井哲郎	人形と小動物	1951(昭和26)	18.0×10.4	アクワチント	
18	駒井哲郎	時間の迷路B	1952(昭和27)	24.0×22.0	アクワチント	
19	浜田知明	初年兵哀歌(戦いのあと)	1951(昭和26)	17.5×9.0	メゾチント	
20	駒井哲郎	夢の推移	1950(昭和25)	12.5×15.5	メゾチント	
21	吉田博	富士	1935(昭和10)	24.5×33.2	木版画	
22	橋本興家	笑意軒と石灯籠	不詳	53.0×41.5	木版画	
23	香月泰男	雲	1972(昭和47)	91.0×60.7	油彩、キャンバス	
24	鴨居玲	教会 スペインB	1973(昭和48)	91.0×73.0	油彩、キャンバス	
25	川端実	門のイメージ 緑	1989(平成元)	213.5×168.0	アクリル、キャンバス	
26	村井進吾	P. W. 20-1	2000(平成12)	30.0×30.0	リトグラフ	
27	村井進吾	P. W. 20-2	2000(平成12)	38.0×30.0	リトグラフ	
28	村井進吾	P. W. 99-1	1999(平成11)	94.0×67.0	リトグラフ	
29	村井進吾	P. W. 99-2	1999(平成11)	92.0×66.0	リトグラフ	
30	村井進吾	P. W. 99-3	1999(平成11)	93.0×65.0	リトグラフ	
31	赤瀬川原平	パルサー	1979(昭和54)	23.4×33.8	リトグラフ	
32	瑛 九	町のはずれ	1956(昭和31)	40.0×28.0	リトグラフ	
33	瑛 九	青いソナタ	1956(昭和31)	42.0×27.0	リトグラフ	
34	瑛 九	ピエロ	1956(昭和31)	41.0×27.0	リトグラフ	
35	瑛 九	スケート	1956(昭和31)	38.0×27.0	リトグラフ	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 受け継がれる祥雲斎の心情-山口明-

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	生野祥雲斎	波紋	1961 (昭和36)	78×138.8	竹・ガラス繊維・木	
2	生野祥雲斎	怒涛	1960 (昭和35)	53×53×73.5	竹・籐	
3	山口 明	炎舞	2004 (平成16)	58×31×58	竹・籐	
4	山口 明	花車	2002 (平成14)	高32 径53	竹・籐	
5	山口 明	豊	1997 (平成 9)	高19 径46	竹・籐	個人蔵
6	山口 明	群炎	2005 (平成17)	57×58×58	竹・籐	個人蔵

3.2.4. 常時展示作品

4つの常設展示室のほか、館内・館外の各所に彫刻などの作品を常時展示した。

番号	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	場所
1	熊井恭子	風の道・水の道	2001(平成13)	1200×660×560	ステンレス・スチール線	常設棟1・2F
2	田中信太郎	風の吹く場所	1992-93 (平成4-5)	193×361×16	強化プラスチック ティック	常設棟1F
3	今井俊満	鯉のぼり-大分-	1987(昭和62)	200 × 1000	アクリル・キャンバス	常設展室3
4	朝倉響子	Ashley (アシュリー)	2001(平成13)	H163×70×46	ブロンズ	エントランス ホール
5	村井進吾	FORM-IV	1992(平成4)	153×160×159	黒御影石	1F中庭
6	風倉 匠	陰陽学	2000(平成12)	120×250×120	アルミ合金	企画棟屋上
7	剣持和夫	宇奈月	1993(平成5)	30×30×800	ブロンズ	企画棟屋外
8	井上一朗	L-MOTION	2000(平成12)	303×270×210	アルミニウム	企画棟屋外
9	安藤 泉	遊星散歩	1999(平成11)	660×665×240	純銅板、鍛金	芝生広場
10	原口典之	重力	2003(平成15)	H79×286×800	厚鋼板・コンクリート	芝生広場
11	佐脇健一	BOLT DOG	2000(平成12)	大73×118×20 他	鉄	チャイルドハウス 周辺
12	青木野枝	荒玉	2002(平成14)	430×390×1740	鉄	散策路

3.3. サマー企画

3.3.1. アートワンダーランド2006<「宝物」を見つけよう>

概要 ‘出会った、見つけた！、をキャッチフレーズに所蔵品の中から特に子どもたちに見せたい作品を選出し、解説パネル等でわかりやすく紹介した。さらに、自分の生まれた年に制作された作品を見つけながら現代日本画、洋画、豊後南画、現代美術といった様々なジャンルの作品を鑑賞できるように構成した。

会期 平成18年7月11日(火)～9月24日(日)

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 77点(他に9点の彫刻を写真パネルで紹介)

観覧者数 16,277人

観覧料 一般300(250)円／高大生200(150)円、中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

関連行事 ■参加体験プログラム(会場内、随時)

「タイムトンネル」をくぐって、アートの世界へ出発する。

「ぬりえコーナー」を設置し、展覧会キャラクター「ひょうたん君」と田能村竹田「四季花鳥図」(部分)の色塗りが体験できる様にした。

ひょうたん君ぬりえ 参加者 1,892名

「竹田 大人のぬりえ」参加者 916名

■夏休み子ども講座「オリジナルライトをつくろう」全2回

日時 7月25日、26日

午前10時30分～午後3時

講師 大分中学・高校講師 小野孝樹氏 参加者 82名

■夏休み子ども講座「ミラーボックスをつくろう」全12回

日時 8月1日、2日、3日、4日、5日、7日

午前10時30分～12時30分、午後2時～4時

講師 美術館職員、美術館ボランティアこもれ美 参加者 723名

■ハイビジョン紙芝居と親子美術教室 全5回

日時 7月9日(土)、23日(土)、8月20日(土)、27日(土)、9月10日(土)

午後1時15分～3時

参加者 255名

印刷物 ・チラシA4版・ワークシート A3二つ折り

関連記事 「夏休み子ども講座生を募集」 大分合同新聞 6月15日

「美術館巡り 親子で感動体験しませんか」 大分合同新聞 7月11日

「ゲーム感覚で親しんで」 大分合同新聞 7月13日

(担当 大野)

常設展示室 1

番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	太郎千恵蔵	Father and son I	1999	198.0×366.0	油彩、キャンバス
2	高山 辰雄	日月星辰 2001 I	2001	26.1×32.1	エッチング
3	高山 辰雄	日月星辰 2001 II	2001	26.1×32.6	エッチング
4	高山 辰雄	日月星辰 2001 III	2001	26.1×32.1	エッチング
5	高山 辰雄	日月星辰 2001 IV	2001	26.1×32.0	エッチング
6	高山 辰雄	日月星辰 2001 V	2001	25.4×32.3	エッチング
7	高山 辰雄	日月星辰 2001 VI	2001	26.1×32.0	エッチング
8	高山 辰雄	日月星辰 2001 VII	2001	32.2×26.2	エッチング
9	高山 辰雄	日月星辰 2001 VIII	2001	32.0×26.0	エッチング
10	高山 辰雄	日月星辰 2001 IX	2001	29.7×22.8	エッチング
11	高山 辰雄	日月星辰 2001 X	2001	31.9×25.9	エッチング
12	高山 辰雄	雨	2003	200.0×140.0	紙本着色
13	高山 辰雄	道	1961	45.5×60.6	紙本着色
14	高山 辰雄	豊山豊水	1985	35.0×65.0	紙本着色
15	平山 郁夫	緑韻富貴寺	1997	169.2×361.6	紙本着色
16	八田 哲	中津城	1993	60.6×80.3	紙本着色
17	佐藤 敬	独唱	1936	197.0×273.1	油彩、キャンバス
18	佐藤 敬	空間の通力	1973	116.0×179.0	油彩、キャンバス
19	白根 光夫	那智の滝	1983	131.0×360.0	油彩、板
20	堀 晃	海の話	1994	182.0×227.0	アクリル、キャンバス
21	矢岡 勲	界	1991	181.8×227.3	油彩、キャンバス
22	池田 栄広	船出前	1986	176.0×221.0	紙本着色
23	岩澤 重夫	郷	1987	191.0×180.0	紙本着色
24	岩澤 重夫	輝やく峰	1998	220.0×145.0	紙本着色
25	千住 博	ウォーターフォール	1996	194.2×130.3	紙本着色
26	中路 融人	爽晨	1984	145.6×210.3	紙本着色
27	南 聡	珪化木	1992	181.8×227.3	紙本着色
28	佐藤 敬	ツリコ・ヴェールの子供	1930-34	64.8×50.2	油彩、キャンバス
29	佐藤 敬	Notre Dame du Paris	1932	54.0×64.0	油彩、キャンバス
30	福田平八郎	池辺の家鴨	1916 頃	164.0×78.0	紙本着色
31	高山 辰雄	紫陽花の頃	1941	125.0×41.0	紙本着色
32	加納 光於	Untitled No. 4	1957	10.0×10.0	エッチング
33	加納 光於	イカルス	1958	36.2×24.5	エッチング
34	加納 光於	無題(Untitled)	1961	12.4×13.5	カラーインタリオ
35	加納 光於	流れのなかで	1961	37.9×42.5	インタリオ
36	加納 光於	星・反芻学	1962	44.5×42.5	インタリオ
37	加納 光於	星・反芻学	1962	67.4×33.0	インタリオ
38	片多 徳郎	キンカン	1912	72.9×53.2	油彩、キャンバス
39	赤木 範陸	ヴァニタス-愚者の籠	2000	60.0×86.0	エンコスティック、生キ キャンバス
40	大津 英敏	白い風	1995	160.0×130.0	油彩、キャンバス

常設展示室 2

番号	作家名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
41	作者不詳	洛中洛外図屏風	1640 頃	各 108.5×273.0	紙本金地着色
42	作者不詳	奈良絵巻「張良」	1661-81 頃	32.7×650.0	紙本着色
43	田能村竹田	四季花鳥図 (夏)	1809	各 130.2×60.7	絹本着色
44	田能村竹田	四季花鳥図 (秋)	1809	各 130.2×60.7	絹本着色
45	帆足 杏雨	老圃秋容図	1848	154.8×57.2	絹本墨画着色
46	帆足 杏雨	李青蓮詩意山水図	1854	154.8×57.2	絹本墨画淡彩
47	平野 五岳	松林山水図	1872	159.0×52.0	紙本墨画淡彩
48	平野 五岳	青山白雲図	1870	172.8×66.4	紙本墨画淡彩
49	田近 竹邨	観艦式	1895	141.5×53.4	紙本墨画淡彩
50	幸松 春浦	老子	1936	272.2×117.0	紙本墨画淡彩
51	高倉 観崖	遠山秋雨	1927	145.0×51.0	絹本着色
52	松本 古村	風雨渡船図	1930	154.0×145.5	絹本着色
53	首藤 雨郊	初秋山水図	1914	130.0×33.5	絹本着色
54	福田平八郎	雉子	1938	134.0×42.2	絹本着色

常設展示室 3

55	熊井 恭子	風の道	1999	1200.0×660.0×560.0	ステンレススチール線
56	今井 俊満	鯉のぼり-大分-	1987	200.0×1000.0	アクリル、キャンバス
57	加納 光於	《草ひばり》	1989	62.4×52.1	カラーインタリオ
58	加納 光於	青ライオンあるいは 《月・指》Ⅰ	1991-92	71.0×56.5	カラーインタリオ
59	加納 光於	同上 Ⅱ	1991-92	71.0×56.5	カラーインタリオ
60	加納 光於	同上 Ⅲ	1991-92	71.0×56.5	カラーインタリオ
61	加納 光於	同上 Ⅳ	1991-92	71.0×56.5	カラーインタリオ
62	加納 光於	《暁によばれて》Ⅰ	1991-92	61.2×50.5	カラーインタリオ
63	加納 光於	《暁によばれて》Ⅱ	1991-92	61.8×45.6	カラーインタリオ
64 ～ 70	赤瀬川原平	トマソン黙示録	1988	各 36.4×51.5	オフセット
71	加納 光於	アララットの船あるいは空 の蜜	1971-72	68.0 × 44.0 × 22.5	木他

常設展示室 4

72	生野祥雲齋	波紋	1961	78.0×138.8×7.4	竹、ガラス繊維、木
73	生野祥雲齋	秋苑	1946	高 32.0 径 34.0	竹、籐
74	生野 徳三	水煙	2001	高 56.0 径 36.0	竹、籐
75	山口 明	花車	2002	高 32.0 径 53.0	竹、籐
76	下田 和泉	風炉先屏風「重ね菱」	1990	39.0×186.0×4.5	竹、木
77	田中信太郎	風の吹く場所	1992-93	193×361×16	繊維強化プラスチック

3. 4. 収蔵品小企画

3. 4. 1. ゴヤが見た18世紀末のスペイン

ーゴヤ・銅版画「ロス・カプリチョス（奇想・気まぐれ）」ー

概要 スペインが生んだ巨匠ゴヤの版画集「ロス・カプリチョス（奇想・気まぐれ）」（全80点）を展示し、時代の証人として人間と時代を見つめたゴヤの版画の魅力を紹介した。

会期 平成18年4月7日（金）～5月7日（日）

会場 企画展示室2

主催 大分市美術館

後援 大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 80点

観覧者数 2,119人

観覧料 一般300（250）円／高大生200（150）円、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※上記料金で常設展も観覧可

関連行事 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日時 4月12日（水）、19日（水）、26日（水） 午後2時～
5月3日（水） 午前11時～

参加者 58人

印刷物 ・ポスターB2版・チラシA4版

関連記事 「社会に鋭いまなざし」『大分合同新聞』夕刊4月7日、
「時代の不条理に警鐘」『大分合同新聞』夕刊4月27日、

（担当 大神）

3.5. 大分市美術展覧会

3.5.1. 第41回大分市美術展覧会

概要 美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざして開催した。

会期 平成19年2月17日(土)～2月24日(土)

休館日 2月19日(月)

会場 アートプラザ

授賞式 2月17日(土) 午前9時30分～10時

主催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展覧会実行委員会

後援 大分県芸術文化振興会議、大分県美術協会、アート・ブラザー、国際ソロプチミスト大分、大分合同新聞社、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

応募点数 338点

入賞・入選点数 313点

観覧者数 3,250人

観覧料 無料

印刷物 ・リーフレットA4版

4. 教育普及事業

4. 1. ハイビジョンシステム

美術品の色や質感をより忠実に再現するハイビジョンを用い、所蔵品に関する静止画や動画番組等の美術情報を提供している。

4. 1. 1. ハイビジョン番組

オリジナル静止画(ホール、ギャラリーI)

1	富春館の世界一帆足家をめぐると作品一	10分
2	水に描かれた福田平八郎の世界	7分
3	祥雲齋に見いだされた竹の造形美	7分
4	日本画 高山辰雄の世界一その作品と歩み一	6分
5	抽象絵画への招待	9分
6	大分の美術・日本画	8分
7	大分の美術・洋画	8分
8	浜田知明一眼に見えぬ鉄格子の中で一	6分
9	田能村竹田『桃花流水図』を読む	7分
10	ふるさとの風景・大分	7分
11	四季の趣 江戸絵画に見る	7分
12	写実と装飾の間で一福田平八郎一	7分
13	加納光於 版画の世界	7分

オリジナル動画(ホール)

1	風光り水澄む郷・大分 高山辰雄画伯のふるさと	15分
2	1994 高山辰雄	30分
3	投華 密教に入る	15分
4	見えない鏡一洋画家・糸園和三郎の世界一	15分
5	竹をきわめる一生野祥雲齋一	15分
6	わが故郷・大分 日本画家 高山辰雄	19分

静止画(ホール、ギャラリーII)

ハイビジョン美術館「美術のたのしみ」		各6分	
1	ひとの顔	6	いきものの姿
2	ひとのかたち	7	ものがたり
3	人々の暮し	8	木と草花
4	踊るひと	9	幻想 ファンタジー
5	暮らしの中の静物	10	いろとかたちのリズム

エルミタージュ美術館 I

各 6 分

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 華麗なる美の殿堂 | 6 イタリア・ルネサンスの精華 |
| 2 バロックの巨匠 レンブラント | 7 ヴェネツィアのルネサンス |
| 3 レンブラント 肖像画の世界 | 8 自然をみつめて |
| 4 レンブラント 聖書の世界 | コローとバルビゾン派 |
| 5 ルネサンスの幕開け | 9 光と色彩の画家 モネ |
| | 10 印象派の人物画 |
| | ルノワールと仲間たち |

エルミタージュ美術館 II

各 6 分

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 フランドル絵画の黄金期-
ルーベンスと弟子たち | 6 近代絵画の父 セザンヌ |
| 2 フランスの古典 プッサンとロラン | 7 楽園を求めて-ゴッガンとゴッホ |
| 3 市民絵画の誕生-
17 世紀オランダ絵画 | 8 パリの世紀末-ナビ派 |
| 4 スペイン絵画の光と影 | 9 色彩への情熱-フォーブの画家 |
| 5 雅の極地-ロココ絵画 | 10 20 世紀の巨匠-ピカソ |

オルセー美術館 I

各 7 分

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 印象派の殿堂 オルセー美術館 | 6 動きへの探究 ドガと踊り子たち |
| 2 リアリズムの巨匠 クールベ | 7 ヴァン・ゴッホ 炎の生涯 |
| 3 大地への讃歌 ミレー | 8 20 世紀芸術への架け橋 |
| 4 セーヌの光に魅せられて モネ | ポンタヴェン派からナビ派へ |
| 5 光と大地の叙事詩 シスレーとピサロ | 9 20 世紀絵画の父 セザンヌ |

フィレンツェ・ルネサンス I

各 7~8 分

- 1 ルネサンスの光と影 花の都フィレンツェ
- 2 フィレンツェの大きな屋根 建築家ブルネレスキの創造
- 3 ルネサンスへの扉 洗礼堂をめぐるコンクール
- 4 革新の波 ジェットからマザッチオへ
- 5 ルネサンスの遺産 ウフィッツィ美術館 I
- 6 ボッティチェリの春 ウフィッツィ美術館 II
- 7 フィレンツェの花形画家 ボッティチェリ
- 8 魂を刻みつづけて ミケランジェロ

シカゴ美術館コレクション名作選 浮世絵 19世紀と20世紀の美術

1	浮世絵 春信・歌麿・写楽	9分
2	浮世絵 北斎・広重	8分
3	新しい自然の発見 ～ロマン派からバルビゾン派へ	10分
4	光の讃歌～フランス印象派の華	11分
5	光と闇から後期印象派の精髓	14分
6	20世紀美術の曙	15分
7	アメリカ美術のメッセージ	13分

日本美術の至宝 日本の巨匠たち

各9～12分

1	雪舟	2	狩野 永徳
3	長谷川 等伯	4	俵屋 宗達
5	尾形 光琳	6	池 大雅
7	与謝 蕪村	8	浦上 玉堂
9	円山 応挙	10	伊藤 若冲

4.1.2. ハイビジョンデータベース

タッチペンで所蔵品を検索でき、子どもから大人まで広く利用。作品のデータは、作家名・ジャンル・制作年代・出身地・おすすめ作品の5つのメニューから検索でき、作品の全図・拡大画像・作品解説・作家解説・用語解説などを画面上に呼び出すことができる。

4.1.3. 公開データベース数

709作品 洋画(油彩、水彩) 121/日本画 230/現代美術 60/文人画(豊後南画) 110/版画 99/工芸 39/彫刻 25/その他 25

4.1.4. ハイビジョン静止画工房

画像に文字情報や音声などを加えて編集し、番組を制作することができる。

4.2. ハイビジョンシアター(特別上映)

展覧会に関するVTR等の上映

時間:午後1時30分～(7月17日(月)、8月13日(日)の午前のみ、11時～)

場所:ハイビジョンホール

	開催日	内容(上映ソフト)	人数
1	4月30日(日)	ゴヤの生涯Ⅱ 革命と動乱に生きた天才画家 スペイン絵画の光と影	38
2	5月3日(水)	ゴヤ-魅惑のマハ 雅の極地-ロココ絵画 スペイン絵画の光と影 幻想-ファンタジー	28
3	6月11日(日)	わが故郷大分 日本画家 高山辰雄 写実と装飾の間で-福田平八郎- 大分の美術 日本画 ふるさとの風景 大分	23
4	7月17日(月)	午前 はじめて物語	51
		午後 キングコング対ゴジラ	72
5	8月13日(日)	午前 世界絵本箱 まんが偉人物語	55
		午後 キングコング対ゴジラ	91
6	9月3日(日)	クルマのできるまで くるま100年 日本を走る	81
7	10月8日(日)	壁画よみがえる 横山大観	31
8	11月12日(日)	同上	43
9	12月10日(日)	20世紀の巨人5 芸術とデザイン 大分の美術 洋画	26
10	1月14日(日)	ピカソ 若き日の天才画家 ゲルニカを味わう 20世紀美術の曙	56
11	2月11日(日)	ファン・アイク/ブリューゲル 不思議あそび いろとかたちのリズム	18
12	3月11日(日)	不思議あそび バロックの巨匠 レンブラント レンブラント 肖像画の世界 レンブラント 聖書の世界 いろとかたちのリズム	125
		計	197

4.3. 夏休み子供名作上映会 ディズニー名作クラシックス「白雪姫」

ディズニーの協力によるDVDの全国巡回の上映会。

時間:午前11時～、午後1時30分～

場所:ハイビジョンホール

	開催日	内容(上映ソフト)	人数
1	8月19日(土) 20日(日)	白雪姫	355

4.4. 芸術・文化に親しむ講座

ハイビジョンホール等の利用を進める中で、市民の生涯学習の場として、「芸術・文化に親しむ講座」を開講した。

	講座名	期日・場所	内容	人数
1	遺跡	5月20日(水) ハイビジョンホール	上野遺跡群について 文化財課 佐藤道文氏	30
2	美術基礎	8月9日(水) 8月10日(木) 8月11日(金)	デッサン実技 県美術協会副会長 小川善規氏	15 10 9
3	映像とシナリオのあいだ	8月27日(日) ハイビジョンホール	シンポジウムと映画上映 映画評論家寺脇研氏ほかシナリオ作家3名	41
4	自然	10月28日(土) ハイビジョンホール	大分生物談話会 会長 佐藤真一氏	52
5	音楽①	11月11日(土) ハイビジョンホール	笙の演奏と講話 藤井絵里氏	39
6	音楽②	12月2日(土) ハイビジョンホール	ギターとフルートの演奏と講話 竹内竜次氏・石井暁子氏	45

4.5. 実技講座

広く美術・芸術に親しむ場として、高い技術を持った地域の専門家の指導による実技講座を開講した。

	講座名	期日・場所	内容	人数
1	水墨画入門編	7月27日(木)研修室	水墨画実技 県水墨画協会会長詫間夢鳳氏	34
2	水墨画入門編	7月28日(金)研修室	水墨画実技 県水墨画協会会長詫間夢鳳氏	32
3	水墨画初級編	10月12日(木)研修室	水墨画実技 県水墨画協会会長詫間夢鳳氏	24
4	水墨画初級編	10月13日(金)研修室	水墨画実技 県水墨画協会会長詫間夢鳳氏	24

4.6. アートカレッジ

	開催日	講義内容	展覧会解説	人数
1	6月29日(木)	古代美術 講師:宗像健一顧問 場所:ハイビジョンホール	日本画二人展×2	36
2	7月20日(木)		ボックスアート	30
3	8月24日(木)		アートワンダーランド	30
4	9月28日(木)		常設展示自由観覧	28
5	10月11日(木)		日本画100年のきらめき	27
6	12月7日(木)		佐藤敬展	22
1	6月23日(金)	17世紀の美術 講師:宗像健一顧問 場所:ハイビジョンホール	日本画二人展×2	53
2	7月21日(金)		ボックスアート	49
3	8月25日(金)		アートワンダーランド	52
4	9月22日(金)		常設展示自由観覧	48
5	10月27日(金)		日本画100年のきらめき	48
6	12月1日(金)		佐藤敬展	47

4. 7. 美術館で音楽会

市民に発表の場を提供し、応募者に演奏の機会を与えた。

	開催日	出演者	内容	人数
1	7月15日(土)	高野一男	クラシックギター	のべ84
2	7月22日(土)	神崎知里	クリスタルボウル	39
		佐保兆基	カンツォーネ	42
3	7月29日(土)	賀来智子	電子ピアノ弾き語り	のべ104
4	8月12日(土)	村田トリオ	ジャズ	のべ109
5	8月19日(土)	Duo Bulan	電子ピアノとサクソ	のべ116
6	8月26日(土)	奏リコーダーアンサンブル	リコーダー	のべ159

4. 8. 子ども講座

「たのしんで・みて・まなぶ」というキャッチフレーズにそって、児童・生徒を対象に創作・鑑賞の場を提供した。

4. 8. 1. GW子ども講座

時間:午後1時30分～3時30分

場所:美術館、チャイルドハウス他

	講座名	開催日	内容	人数
1	こいのぼりをつくろう	5月3日 (全1回)	・展覧会鑑賞後、大きなキャンバスに共同でこいのぼりを描いた。 会場:チャイルドハウス、展示室他 講師:美術館職員、美術館ボランティア	子ども 5 保護者 4 計 9
2	タイムトンネルをつくろう	5月4日 (全1回)	・展覧会観賞後、サマー企画会場の入り口を飾るタイムトンネルの壁面を共同で制作した。 会場:チャイルドハウス、展示室他 講師:美術館職員、美術館ボランティア	子ども 11 保護者 9 計 20
3	未来の乗り物をつくろう	5月5日 (全1回)	・展覧会観賞後、ペットボトルを利用して未来の乗り物を制作した。 会場:チャイルドハウス、展示室他 講師:美術館職員、美術館ボランティア	子ども 18 保護者 15 計 33
計				62

4. 8. 2. 夏休み子ども講座

時間:午前10時30分～午後3時

場所:チャイルドハウス、研修室他

	講座名	開催日	内容	人数
1	オリジナルライトをつくろう	7月25、26日 (全2回)	・展覧会観賞後、風船に石膏テープを貼り付けてランプシェードを作り、オリジナルライト制作を行った。 会場:チャイルドハウス、研修室他 講師:小野孝樹(大分高校講師)、美術館職員、美術館ボランティア	子ども 50 保護者 32 計 82
2	ミラーボックスをつくろう	8月1、2、3、4、5、7日(全12回)	・展覧会観賞後、各自が厚紙で制作し色紙やペンで飾りを付けた箱の両面に鏡を貼り、ミラーボックスを制作した。 会場:研修室、チャイルドハウス他 講師:美術館職員、美術館ボランティア	子ども 442 保護者 281 計 723
計				805

4.8.3. ハイビジョン紙芝居と親子美術教室

ボランティアとの協働によるハイビジョン紙芝居

時間: 午後1時15分～30分

場所: ハイビジョンホール

	開催日	内容	人数	ボランティア
1	7月8日(土)	福田平八郎 (オリジナル)	40	6
2	7月22日(土)	上野の森の青い鳥 (オリジナル)	38	5
3	8月12日(土)		31	4
4	8月26日(土)		46	5
5	9月2日(土)		28	6
計			183	26

ボランティアとの協働による親子美術教室

時間: 午後1時30分～3時

場所: 常設・企画展示室(1のみ常設展示室)

	開催日	内容	人数	ボランティア
1	7月8日(土)	ワンダーランド展鑑賞	40	6
2	7月22日(土)	ワンダーランド展、ボックスアート展鑑賞	38	4
3	8月12日(土)		31	4
4	8月26日(土)		46	5
5	9月2日(土)		28	3
計			183	22

4.9. 出前鑑賞教室

所蔵作品鑑賞の機会をより多く提供するために市内小中学校等において「出前鑑賞教室」を実施した。

実施コース

Aコース わが国を代表する福田平八郎、高山辰雄について知る (小学生向き)

ねらい 大分市出身の福田平八郎、高山辰雄について知り、その作品のよさや美しさを味わう。

内容 ・大分市美術館ボランティア「こもれ美」による紙芝居「福田平八郎」鑑賞
・福田、高山の作品鑑賞
・日本画の用具、材料について知る

Bコース わが国を代表する福田平八郎、高山辰雄について知る (中学生向き)

ねらい 大分市出身の福田平八郎、高山辰雄について知り、その作品のよさや美しさを味わう。

内容 ・福田、高山の作品鑑賞
・日本画の用具、材料について知る

Cコース 豊後南画の創始者、田能村竹田について知る

ねらい 田能村竹田について知り、その作品のよさや美しさを学ぶ。

内容 ・大分市美術館ボランティア「こもれ美」による紙芝居「田能村竹田」
・豊後南画についてのはなし
・竹田の作品(掛軸)の鑑賞

Dコース いろいろに描かれた動物たちを見る

ねらい 様々なジャンルの、動物作品のおもしろさを味わう。

内容 ・動物をテーマとした日本画・油絵・彫刻・掛軸等の鑑賞
・それぞれの作品について、作者、技法、時代背景などを知る。

Eコース	いろいろな人物表現を見る
ねらい	様々なジャンルの作品の人物表現を味わう。
内容	・人物をテーマとした日本画・洋画・版画等の鑑賞 ・それぞれの作品について作者、技法、時代背景などを知る。

Fコース	水墨画にチャレンジ
ねらい	墨で絵を描くことで、水墨画の表現のおもしろさや美しさを学ぶ。
内容	・釘宮對宕(大分県出身)の作品鑑賞 ・実技(習字道具が必要)

実施状況

	開催日	会場・学年	人数	コース
1	6月20日(火)	東植田小学校6年生	115	A
2	6月27日(火)	明野北小学校5年生	140	道の入った絵
3	6月28日(水)	中島小学校4年生	65	A
4	7月19日(水)	植田小学校6年生	70	F
5	9月10日(日)	大分西中学校親子PTA	51	F
6	9月26日(火)	戸次小学校6年生	145	F
7	10月24日(火)	明野東小学校6年生	65	F
8	10月31日(火)	明野西小学校5年生	93	F
9	11月21日(火)	日岡小学校5年生	83	A
10	12月5日(火)	東植田小学校5年	92	F
11	1月23日(火)	竹中中学校全校	25	B

4.10. 職場体験

学校からの要請に応え、監視体験、学芸員体験など職場体験の場を提供した。

	開催日	学校名	人数
1	7月11日(火)	王子中学校(調べ学習)	15
2	7月11日~13日	大分商業高校	8
3	7月14日(金)	植田南中学校	4
4	8月23日(水)	原川中学校	6
5	8月24日~25日	滝尾中学校	8
6	8月30日~9月1日	鶴崎工業高校	10
7	9月14日(木)	明野中学校・南大分中学校	12
8	9月20日(水)	判田中学校	8
9	3月7日(水)	碩田中学校	8

4.11. ボランティア研修講座

大分市美術館では、積極的に美術教育普及活動の推進を計るため、市民による「美術館ボランティア」を設置している。本講座は、本館で活躍中の美術館ボランティアを対象に知識、技能をより高めるとともに、ボランティア相互の交流を目指したものである。

研修期間：平成17年4月28日(木)～平成18年3月16日(木)

時間：午後1時30分～3時30分

場所：ハイビジョンホール(1・7・9は研修室、8は展示室)

	開催日	内容	講師	人数
1	4月28日(木)	総会		ボランティア 登録数：101
2	5月19日(木)	講話「現代美術の原点 マルセル・デュシャン」	美術館職員	
3	6月16日(木)	企画展・常設展レクチャー	美術館職員	
4	8月9日(火)	講話「ロシア・アヴァンギャルドと抽象絵画のはじまり」	美術館職員	
5	10月20日(木)	講演「東西南北こぼれ話・文章の書き方について」	南里 俊策 氏	
6	11月22日(火)	講話「リアリズムから印象派へ」	美術館職員	
7	12月22日(木)	「掛け軸について」講話と実演	橋本 好生 氏	
8	2月23日(木)	ギャラリートーク(常設展を中心に)	ギャラリートークグループ	
9	3月16日(木)	講話・意見交換会	美術館職員	

4.12. ボランティア活動

大分市美術館ボランティアは、学習ボランティアであり施設ボランティアである。美術館という施設において来館者（学習者）に対して、資料、解説（ギャラリートーク）、ワークショップ、広報の4つのグループに分かれ、下記のような活動を行った。

（1）資料グループの活動

活動日 合同活動日 毎月第4水曜日午前10時～12時
個人活動日 毎週水曜日、金曜日午前10時～12時
原則月3回

活動内容 ・新聞記事スクラップの整理 ・作家別資料ファイルの整理
・図書の整理 ・パンフレット・チラシの整理 ・その他

（2）解説（ギャラリートーク）グループの活動

学習会 毎週火曜日午後1時30分～3時30分
ギャラリートーク

第2、第4土曜日午後1時30分～2時30分

団体対応 美術館からの要請にもとづき常設展示室の解説を中心に協力した。小学校、中学校、その他、市の公募による子ども講座受講者の団体等に対応した。

（3）ワークショップグループの活動

学習会 毎週月曜日午前10時～12時
ハイビジョン紙芝居

サマー企画に合わせ、新作「上野の森の青い鳥」制作。その他、団体の希望に合わせ、随時いろいろな番組を上演した。

GW、夏休み子ども講座の講師、助手

造形活動の助手等として子どもたちへの指導や補助を行った。

（4）広報グループの活動

学習会 毎週木曜日午前10時30分～12時
広報紙の発行

- ・2006. 7月発行 定期紙 21号
- ・2006. 11月発行 定期紙 22号
- ・2007. 3月発行 定期紙 23号

特別号「佐藤敬によせて」の発行

- ・2007. 3月発行

4.13. 博物館実習

実習生	3名
期間	平成18年8月18日(金)～8月28日(月) 午前10時～午後5時
内容	1日目 事務連絡、自主研修について、文化財の保存について 2日目 文化財の保存について、自主研修 3日目 豊後南画(近世)について 4日目 展示替え見学、自主研修 5日目 日本画(近現代)についてI 6日目 特別展「ボックスアート」について 7日目 教育普及について、アートカレッジ聴講 8日目 日本画(近現代)についてII、アートカレッジ聴講 9日目 文化財の保存について、親子美術教室参加 10日目 ハイビジョンシアター鑑賞、芸術・文化に親しむ講座聴講 11日目 竹工芸について、まとめ

4.14. 各種刊行物

美術館活動への参加、理解をより促進するため、当館の展示、調査・研究、教育普及等の活動に伴う、図録、ワークシート、年報、ニュース等の刊行物を発行した。

(1) 展覧会関連

名 称	規格	頁数
日本画二人展×2 カタログ	A4	30
佐藤敬展 カタログ	A4	38
アートワンダーランド2006 ワークシート	A4	4
アートワンダーランド2006 切り抜きワークシート1	A4	1
アートワンダーランド2006 切り抜きワークシート2	A4	1
磯崎新の最近作 リーフレット	A4	4
第41回大分市美術展覧会 リーフレット	A4	6

(2) 定期刊行物等

名 称	規格	頁数
平成17年度 大分市美術館年報	PDF ファイル	69
大分市美術館ニュース Vol16	A4	4
大分市美術館ニュース Vol17	A4	4
大分市美術館ニュース Vol18	A4	4

5. 資料収集事業

5.1. 美術品等収集事業

ジャンル別収集美術品等点数(平成19年3月31日現在)

	ジャンル	購入	寄贈	合計	寄託
1	日本画	274 (18)	146 (8)	420 (26)	24 (15)
2	洋画	189 (15)	86 (5)	275 (20)	5 (1)
3	彫刻	140	7	147	1
4	工芸	41	21	62	2 (1)
5	書	31	24	55	1
6	写真	68	11	79	0
7	版画	692	64 (14)	756 (14)	2
8	水彩	5	3	8	1 (1)
9	素描	19 (1)	1	20 (1)	0
10	デザイン	0	0	0	0
11	資料	0	10 (2)	10 (2)	1
12	その他	34	11	45	0
	合計	1493 (34)	384 (29)	1877 (63)	37 (18)

() 内は18年度収集点数

平成18年度収集作品

■日本画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
1	帆足 杏雨	清溪書屋図	1829年	紙本墨画淡彩	109.2×38.5	購入
2	帆足 杏雨	梅溪暁艤図	1834年	紙本墨画淡彩	158.5×45.0	購入
3	帆足 杏雨	浅絳山水図	1835年	絹本墨画淡彩	123.0×50.5	購入
4	帆足 杏雨	設色花鳥図	1841年	絹本墨画着色	115.8×35.5	購入
5	帆足 杏雨	南山松柏図	1851年	絹本墨画淡彩	130.2×50.4	購入
6	淵野 真斎	寿老人図	1822年	紙本淡彩	114.2×54.4	購入
7	幸松 春浦	山水図屏風	1924年	紙本金地着色	156.5×172.8	購入
8	梶山 九江	松林山水図	1885年	絹本墨画淡彩	172.0×85.0	購入
9	加納 雨篷	淡彩山水図	1925年	絹本墨画淡彩	155.8×36.2	購入
10	宮崎 喜恵	磨崖の佛さん	1999年	画布着色	160.5×110.5	購入
11	鈴木 忠実	飛翔	1993年	紙本着色	162.1×262.0	購入
12	藤田 嗣治	佐藤敬、美子	1944年頃	紙本淡彩	18.5×21.5	購入
13	帆足 杏雨	山水図	1865年	絹本墨画淡彩・絹本墨画	各173.0×52.0	購入
14	帆足 杏雨	秋晴晩歩図	1832年	紙本墨画淡彩	50.0×41.4	購入
15	福田平八郎	紅葉	1950年頃	絹本着色	50.0×67.4	購入
16	幸松 春浦	牧童吹笛図	不詳	絹本着色	84.8×99.8	購入
17	幸松 春浦	深山雲烟図	不詳	絹本墨画	84.5×99.8	購入
18	首藤 詔子	秋日	1983年	紙本着色	162.0×130.3	購入
19	帆足 杏雨	風雨渡航図	1845年	紙本墨画淡彩	147.8×40.5	寄贈
20	秦 米陽	観音図	1917年	絹本着色	122.5×33.8	寄贈
21	首藤 雨郊	幽居不知門外事	1938年	絹本墨画	129.0×34.2	寄贈
22	釘宮 對宕	雲水図	不詳	紙本墨画	74.0×47.0	寄贈
23	紙谷 義久	雨季 7月	1986年	紙本着色	145.5×145.5	寄贈
24	朝倉美彌子	燈光	2002年	紙本着色	175.0×210.0	寄贈
25	高倉 観崖	夏景山水図	不詳	絹本着色	128.5×42.0	寄贈
26	上野 未央	〇5創(いのち) -III	2005年	紙本着色	181.6×227.3	寄贈

■洋画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
27	佐藤 敬	制作	1936年	油彩、キャンバス	197.0×265.0	購入
28	佐藤 敬	唄土	1937年頃	油彩、キャンバス	20.0×15.0	購入
29	佐藤 敬	安陸戦跡	1941年	油彩、キャンバス	63.5×89.5	購入
30	佐藤 敬	肖像A	1946年	油彩、キャンバス	73.0×53.0	購入
31	佐藤 敬	裸婦	1947年	油彩、キャンバス	65.0×90.0	購入
32	佐藤 敬	浴場	1951年	油彩、キャンバス	130.0×160.0	購入
33	佐藤 敬	遙かなる時間	1978年	グワッシュ、墨、和紙	51.0×33.0	購入
34	佐藤 敬	眞弓	1947年頃	油彩、キャンバス	40.0×31.0	購入
35	飯尾 寿夫	俺はドラゴン(1)	1998年	油彩、キャンバス	162.0×227.0	購入
36	佐藤敬	花輪	1948年	油彩、キャンバス	70.0×52.0	購入
37	佐藤敬	裸婦	1952年	油彩、キャンバス	73.0×91.0	購入
38	佐藤敬	震	1961年	油彩、キャンバス	92.0×73.0	購入
39	佐藤敬	Gouache' 73	1973年	グワッシュ、紙	24.0×31.5	購入
40	佐藤敬	朝	1975年	油彩、キャンバス	60.0×73.0	購入
41	佐藤敬	墨彩	1978年	墨、グワッシュ、紙	24.0×33.0	購入
42	飯尾 寿夫	木霊	2002年	油彩、キャンバス	130.0×130.0	寄贈
43	熊井 惇	楽暫閑	1948年	油彩、キャンバス	91.0×116.7	寄贈
44	熊井 惇	扇持つ少女	1951年	油彩、キャンバス	116.7×91.0	寄贈
45	荒金 透	崇高	1969年	油彩、キャンバス	65.0×65.0	寄贈
46	宮崎 勇次郎	エンドレスパラダイス	2005年	アクリル、キャンバス	91.5×466.0	寄贈

■版画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	サイズ(cm)	備考
47	高山 辰雄	玄乃玄 1	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
48	高山 辰雄	玄乃玄 2	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
49	高山 辰雄	玄乃玄 3	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
50	高山 辰雄	玄乃玄 4	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
51	高山 辰雄	玄乃玄 5	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
52	高山 辰雄	玄乃玄 6	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
53	高山 辰雄	玄乃玄 7	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
54	高山 辰雄	玄乃玄 8	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈
55	高山 辰雄	玄乃玄 9	2006年	リトグラフ	各37.0×55.5	寄贈
56	高山 辰雄	玄乃玄 10	2006年	リトグラフ	各37.0×55.5	寄贈
57	高山 辰雄	玄乃玄 11	2006年	リトグラフ	各37.0×55.5	寄贈
58	高山 辰雄	玄乃玄 12	2006年	リトグラフ	各37.0×55.5	寄贈
59	高山 辰雄	玄乃玄 13	2006年	リトグラフ	各37.0×55.5	寄贈
60	高山 辰雄	玄乃玄 14	2006年	リトグラフ	各55.5×37.0	寄贈

■素描

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
61	福田平八郎	日本娘の顔	1910年代頃	紙、鉛筆、パステル	22.1×14.4	購入

■資料

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
62	佐藤 敬	遙かなる時間	1980年	シルクスクリーン	49.0×32.0	寄贈
63	佐藤 敬	ノートルダム	1974年	水彩、マジック	27.0×24.0	寄贈

5.2. 平成18年度作品貸出実績

No.	作家名	作品名	展覧会名
			会場：会期
1	不詳	張良	平成17年度企画展「おはなしの絵—物語と絵解き—」 大分県立歴史博物館 平成17年7月5日（火）～平成17年9月19日（月）
2	田能村竹田 田能村竹田 田能村竹田 田能村竹田	暗香疎影図 富士図 桃花流水図 月下芦雁図	特別展覧会「竜馬の翔けた時代」 京都国立博物館 平成17年7月16日（土）～8月28日（日）
3	田能村竹田	花卉図 他62点	「文人の夢・田能村竹田の世界」展 静岡県立美術館 平成17年9月30日（金）～11月6日（日） ※大分市美術館との交換展
4	帆足杏雨	淡彩山水図	特別展「南画の里竹田、文人書画展」 竹田市立歴史資料館 平成17年10月29日（土）～11月20日（日）
5	宇治山哲平 宇治山哲平	爽 樹No.12	宇治山哲平展 東京都庭園美術館 平成18年2月4日（土）～4月9日（日）
6	鬮嘸	バタフライ	鬮嘸展 福井県立美術館 平成18年3月1日（水）～3月30日（木）
7	吉村益信 吉村益信	銀座の吉村益信 と進駐軍 銀座の吉村益信	「東京—ベルリン／ベルリン—東京」展 森美術館 平成18年1月28日（土）～5月7日（日） ベルリン新国立美術館 6月7日（水）～10月3日（火）
	合計	のべ73点	7展覧会／8会場

5.3. 図書

4,561冊（平成19年3月31日現在）

5.4. 映像資料

- | | |
|--------------------------|--------------|
| (1) 高山辰雄 | (26分) VHS |
| (2) 日本の巨匠シリーズ 日本画家 中島 千波 | (26分) VHS |
| (3) 版画の技法と表現 木版画 | (23分23秒) VHS |
| (4) ネオ・ダダビデオ R1 | (70分26秒) D2 |
| (5) ネオ・ダダビデオ R2 | (71分1秒) D2 |
| (6) ネオ・ダダ展イベントビデオ | (44分30秒) D2 |
| (7) 世界・美の旅14 ゴヤ | (30分) VHS |
| (8) 世界・美の旅10 ピカソ | (30分) VHS |

6. 管理運営

6. 1. 職員数

年度別推移

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
美術館美術振興課								16 (1)
美術館管理課	7	7	7	7	6	7(1)	7(1)	-
アートプラザ	8(3)	7(3)	7(3)	7(3)	7(4)	7(4)	7(4)	7 (4)
美術館学芸課	9	11	11	11	11	10	10	-
計	24(3)	25(3)	25(3)	25(3)	24(4)	24(5)	24 (5)	23 (5)

(平成18年4月1日現在) () は非常勤嘱託職員内数

美術館管理課及び美術館学芸課は平成10年12月1日設置。平成19年4月1日から機構改革により1課3班(グループ)・美術館美術振興課とした。

平成18年度

職名	次長	課長	課長補佐、主幹	係長、主査	主任	指導主事	嘱託	合計
館長・課長・顧問	1	1					1	3
総務担当班			1	1	2			4
学芸担当班			1		4			5
広報普及担当班				1	1	2		4
アートプラザ			1	2			4	7

6. 2. 事務分掌

課	班(グループ)	事務分掌
美術館美術振興課	総務担当班	(1) 美術館の施設及び設備の維持管理並びに使用許可に関すること。
	学芸担当班	(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の収集、保管及び展示に関すること。 (2) 美術に関する専門的な調査及び研究に関すること。 (3) 寄託及び寄贈に係る美術品等の選定に関すること。 (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。 (5) 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催及び奨励に関すること。
	広報普及担当班	(6) 他の美術館等との連絡、協力、情報の交換及び美術品等の相互貸借等に関すること。 (7) 美術の教育及び普及に関すること。
	アートプラザ	(1) アートプラザの施設及び設備の維持管理並びに使用に関すること。 (2) 利用者に対する指導及び助言に関すること。 (3) 磯崎新建築資料等の保管及び展示に関すること。

6.3. 利用状況

(1) 利用者内訳

年度	展覧会			研修室 利用者(B)	フリーゾーン					美術館 展示施設等の 利用者の合計 (G)= A+B+F	レスト ラン(H)	美術館 施設利用 者総計 (I)= G+H	チャイルド ハウス (J)	美術館 出前教室 (K)	美術館 全体の 総利用 者再 計 (L)=I +J+K		
	常設 展	特別 展	小計 (A)		ハイビジョンホール				ミュー ジウム ショップ (D)							その他 (図書 コーナー、 ティール ラウン ジ等) (E)	フリー ゾーン 中計 (F)=C+ D+E
					館事業 講座	特別展 関連講 座	その他	小計 (C)									
10	45,226	43,556	88,782	263					4,337		4,337	93,382	10,027	103,409			103,409
11	77,837	79,900	157,737	5,085	1,439				1,439	11,048	12,487	175,309	32,040	207,349	143	587	208,079
12	66,956	81,684	148,640	3,532	1,982	257	1,600	3,839	10,430		14,269	166,441	23,672	190,113	120	791	191,024
13	49,964	67,206	117,170	6,806	1,621	269	2,000	3,890	8,632		12,522	136,498	21,120	157,618	194	1,633	159,445
14	33,226	86,488	119,714	5,936	1,563	241	2,000	3,804	4,378		8,182	133,832	14,861	148,693	1,465	1,188	151,346
15	40,774	70,660	111,434	8,073	2,026	17,043	933	20,002	10,421		30,423	149,930	8,421	158,351	1,078	1,566	160,995
16	33,492	29,705	63,197	7,885	5,056	561	2,209	7,826	3,981	14,121	25,928	97,010	43,198	140,208	1,020	1,269	142,497
17	35,594	32,218	67,812	8,116	5,822	1,848	1,881	9,551	6,006	23,779	39,336	115,264	41,760	157,024	414	566	158,004
18	41,965	56,163	98,128	10,359	4,577	1,375	2,420	8,372	8,391	33,541	50,304	158,791	46,398	205,189	413	800	206,402
累計	425,034	547,580	972,614	56,055	24,086	21,594	13,043	58,723	67,624	71,441	197,788	1,226,457	241,497	1,467,954	4,847	8,400	1,481,201

(2) 企画展(特別展)観覧者

展覧会名	開催期間	日数	観覧者	一日平均
日本画二人展×2	平成18年5月16日～7月9日	50	5,182	104
プラモデルパッケージと戦後の日本文化	平成18年7月15日～9月4日	47	16,708	355
日本画100年のきらめき	平成18年10月6日～11月19日	40	10,209	255
佐藤敬展	平成18年12月1日～19年2月5日	52	5,245	101
エッシャーの不思議な世界	平成19年2月17日～3月25日	33	18,819	570

(3) 年度別展覧会開催日数

年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	累計
常設展	37	307	300	309	300	306	304	301	314	2,478
特別展	30	247	242	267	247	251	160	191	222	1,857

6.4. 建築設備概要

建物概要	所在地	大分市大字上野 865 番地
	設計	内井昭蔵建築設計事務所
	監理	大分市土木建築部建築課、内井昭蔵建築設計事務所
	施工	建築: 清水建設・佐伯建設特定建設工事共同企業体 電気: 東芝プラント建設・大徳電業特定建設工事共同企業体 空調: ダイダン・但馬設備工業特定建設工事共同企業体 給排水衛生: 富士輝工業株式会社 昇降機: 株式会社東芝 都市ガス: 大分瓦斯株式会社
	工事期間	平成 8 年 12 月 18 日～平成 10 年 9 月 30 日
	総事業費	7, 090, 129 千円
建築概要	敷地面積	129, 837 m ² (上野丘公園全体)
	建築面積	美術館 6, 570. 65 m ² 屋外便所 52. 86 m ² 計 6, 623. 51 m ²
	延床面積	美術館 9, 036. 48 m ² 屋外便所 48. 52 m ² 計 9, 085. 00 m ²
	構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上 2 階建
	屋根	外断熱アスファルト防水押えコンクリート、鉛破覆銅板立ハゼ葺・一部瓦棒葺・アルミダイキャスト
	外壁	珪藻土搔落し、洗い出し、金ゴテ押え、鉛破覆銅板平葺・菱葺、せつ器質タイル張、アルミダイキャスト、アルミ押出リブパネル、諫早石ソフビシヤン
電気設備	電力引込	3 相 3 線 6.6KV 60HZ 1 回線受電地中引込
	受変電	屋内キュービクル式受配電盤 設備受量 1800KVA
	非常用	発電機 1 台 ガスタービン 375KVA 出力 610PS 蓄電池(非常照明用)1 組 無停電電源装置 1 式
弱雷設備	設備内容	電話設備、放送設備、インターホン、難聴者設備(フラットループアンテナ)、盲人誘導装置(コントロールボックス、スピーカー6)、電気時計装置、ローカルアンプワゴン、研修室 AV 装置(ビデオプロ)ジェクター、電動昇降スクリーンほか)
空調設備	熱電	直焚吸収冷温水機 2 空冷スクリュウヒートポンプチラー1 冷却塔 2
	空調機	4 管式 AHU 単一ダクト方式(24 時間系統)、2 管式 AHU 単一ダクト方式(一般系統)、酸アルカリ除去、フィルター装置、パネルヒーターパッケージ型空調機
	換気	給気送風機、排気送風機、空調換気扇、オゾン脱臭機
給排水	給水	圧力方式(一部直接給水)
衛生設備	排水	構内: 分流方式 構外: 合流方式(公共下水道)

昇降機 乗用エレベータ 油圧 2 段速度制御方式 車椅子仕様 定員 13 名 / 1 基、
油温油圧補償制御方式 車椅子仕様 定員 11 名 / 2 基
荷物用エレベータ 油圧 2 段速度制御方式 積載量 2,500kg / 1 基

テーブルリフター リフト 1.58m テーブル 1.5m × 3m 荷重 3,000kg / 2 基

6.5. フロア別面積

建築面積（単位：㎡）

美術館	外便所棟	合計
6,570.65	52.86	6,623.51

延床面積（単位：㎡）

企画展示棟	常設展示棟	合計	屋外便所棟	総計
5,841.93	3,194.55	9,036.48	48.52	9,085.00

部門別面積

部門	面積（単位：㎡）	構成比率	室名	面積（単位：㎡）
展示部門	2,097.81	23.2	企画展示室1	428.88
			企画展示室2	429.25
			常設展示室1	495.45
			常設展示室2	237.24
			常設展示室3	195.74
			常設展示室4	79.72
			展示ロビーほか	231.53
教育普及部門	494.68	5.5	ハイビジョンホール	120.68
			ハイビジョンブース	34.88
			ハイビジョン静止画工房	18.24
			研修室	169.94
			図書コーナー	101.77
			ボランティア室	49.17
サービス部門	2,085.96	23.1	ミュージアムショップ	126.1
			エントランスホール	299.94
			レストラン	322.84
			救護室	8.61
			授乳室	19.08
			ティーラウンジ・ロビー他	1309.36
収蔵部門	1,410.13	15.6	収蔵庫1	320.05
			収蔵庫2	229.45
			収蔵庫3	180.66
			収蔵庫4	109.21
			荷解室1・2、荷卸室ほか	570.76
管理部門	593.30	6.6	館長室	32.18
			事務学芸員室	242.93
			会議室1・2	110.79
			中央監視室	54.01
			応接室ほか	153.39
その他	2,354.63	26.0	機械室関係	944.92
			廊下・階段・ELV	897.27
			倉庫・WC等	512.44
合計	9,036.48	100.0		

6.6. 決算

(単位:千円)

項目	年度	平成18年度	
		美術館	アートプラザ
人件費		135,926 (職員16名分 ※嘱託1名分含む)	39,926 (職員7名分 ※嘱託4名分含む)
管理費	委託料	117,905	36,368
	光熱水費	53,146	15,480
	その他	28,715	2,444
	小計	199,766	54,292
人件費+管理費		335,692	94,218
事業費	展覧会事業	60,528	
	教育普及事業	10,033	
	資料関係費	49,850	
		0	
	小計	120,411	
合計		456,103	94,218
総計			550,321

6.7. 利用案内

利用時間・料金

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）。但し、毎月第1月曜日は開館しその翌日の火曜日が休館。年末年始（12月28日～1月4日）。

観覧料

常設展

区分	個人	団体（20人以上）
一般	300円	250円
高・大生	200円	150円

特別展

特別展料金はその都度決定する。

施設使用料

室名	使用料
研修室	1時間につき 1,050円

注 冷暖房期間中は、上表により算定した使用料の4割に相当する額（冷暖房使用料）を加算する。

交通案内

バス JR大分駅から大分バス 大分市美術館・駅裏循環 [大分市美術館] 下車
 タクシー JR大分駅から約10分
 車 大分自動車道/大分I.C. から約10分

6. 8. 条例

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206181.html

6. 9. 条例施行規則

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206191.html

7. アートプラザ

7. 1. 運営方針

ゆとりと豊かさがある生涯学習生活をめざしていく中で、精神的なうるおいと安らぎのある市民生活を実現するため、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として運営していく。そのために、市民のニーズと活用レベルに応じた対応や、気軽に活用できるためのシステムづくりに力を入れている。さらに、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを紹介していく。

7. 2. 施設概要

(1) 沿革

昭和 41(1966)年	5月	大分県立大分図書館(磯崎新氏設計)として竣工
昭和 43(1968)年	4月	建築年鑑賞受賞
平成 6(1994)年	8月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成 7(1995)年	4月	大分市が無償貸与を受ける
平成 7(1995)年	11月	整備工事設計委託契約締結(磯崎新氏設計)
平成 8(1996)年	9月	整備工事契約締結
平成 9(1997)年	9月	アートプラザ条例制定
平成 9(1997)年	10月	アートプラザ竣工
平成 10(1998)年	2月	アートプラザ開館

(2) 概要

敷地面積	3,686.7 m ²	建築面積	1,599.945 m ²
延床面積	4,081.551 m ²	構造	鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階

7. 3. 業務内容

(1) 貸館業務

市民ギャラリーA・B(1F)

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。また、A・Bを同時使用することもできる。

アートホール(2F)

文化・芸術関係団体の展示会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

研修室(2F)

芸術・文化に関する講座や、一般の会議、研修会にも利用できる。

実技室(2F)

全紙が充分広げられる作業机・版画制作に必要なプレス機・イーゼル・水道設備も整

っている。油絵・日本画・書道・工芸等々、各種制作活動や実技研修に利用できる。

(2) 磯崎新建築資料展示業務 (3F・磯崎新建築展示室)

大分市出身の磯崎新は日本が世界に誇る建築家であり、グローバルに活躍している。彼はその前衛的な作品によってのみならず、建築家としては異例な質と量の著書を通じて、世界の建築思潮に大きな影響を与えてきた。

磯崎建築の初期の傑作である当館(旧大分県立大分図書館)の本展示は、彼の作品・言説両面にわたる巨大な足跡の記録である。

特集1

磯崎新の“○△□”を探そう—大分から世界へ
平成18年2月7日(火)～平成19年1月末

特集2

磯崎新の最近作—日本・中国・ヨーロッパ・中東—
平成19年2月9日(金)～平成20年1月末

特集1

平成17年度から引き続き、子どもたちに、磯崎建築に興味をもってもらうことを目的として○△□の形に注目しつつ、磯崎新の足跡を紹介した。

特集2

近年、磯崎芸術は、日本国内よりむしろ海外を主舞台として新たな展開を見せており、その活動範囲は中国、ヨーロッパ、中東などに及んでいる。今回は完成模型や部分模型をはじめ、最新のスタディ模型、CGによるビジュアル・イメージ、映像などさまざまなメディアにより、磯崎芸術を紹介した。

【建築模型出品目録】 (特集2)

展示室1 スタディールーム

磯崎関連の書籍・VTRほか

展示室2 日本

北方町生涯学習センター、セラミックパーク MINO

展示室3 中国・東南アジア

北京中央美術学院 美術館、中国国際建築実践展 会議センター、上海証大ヒマラヤ芸術センター、青島桂園、建川博物館聚落 日軍館、ホーチミン・ダイヤモンド・アイランド

展示室4 中東

アル・サーニ邸、アル・ワブラ・ファーム、アル・ワブラ・ファーム フェューチャービル、カタール国立図書館、カタール国立コンベンションセンター、バイルートガーデンズ

展示室5 ヨーロッパ

トリノ・パラホッケー、ミラノ・フィエラ、テサロニキ・メガロン・コンサートホール

展示室6～9

磯崎氏の最近までの制作年表と言説年表、及び代表的な執筆本を展示

7.4. 現代美術作品- 大分市美術館所蔵- 常設展示

1960年代に国内外で活動した芸術家たちの作品を中心に大分市美術館の企画により、60年代ホールにおいて展示を行っている。展示作品は大分市美術館所蔵である。

【展示作品について】

今回は、大分出身の新世代の作家達が、それぞれ独自の視点で平面と空間に向き合う姿を、1970年代から2000年代に制作された作品により紹介した。加えて篠原有司男のオートバイ彫刻をはじめとした、ネオ・ダダゆかりの作品も紹介した。

会期：平成19年2月9日(金)～平成20年1月末 場所：60'sホール

番号	作者名	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	久間 清喜	翠	1998	180×90	アクリル・板
2	久間 章江	いきもの	1998	160×160	アクリル・板
3	足利 桂子	ヨハンの昔話	2001	162×162	油彩・キャンバス
4	今永 清玄	破壊者-3	1994	193.9×162.1	油彩・キャンバス
5	渡辺 宏	RAJAの訪問者	1971	194×194	油彩・キャンバス
6	諏訪真理子	薄膜・Film-1	1995	183×76.5×1	薄鉄板・カシュー・黒鉛・ベニヤ
7	山口 正文	彼岸	2002	259×194	アクリル・キャンバス
8	岩尾 善幸	春雷	2003	182×454	アクリル・キャンバス
9	篠原有司男	モーターサイクル・ヴァン・ゴッホ	1991	210×240×90	木・カードボード・アクリル他
10	石松 健男	銀座の吉村益信と進駐軍	1960	38×57	ゼラチンシルバープリント
11	石黒 健治	Dangerに火をつける 吉野辰海2	1960	49.2×38	ゼラチンシルバープリント

7.5. 利用案内

利用時間・料金

開館時間 午前9時から午後10時まで（ただし、3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）。ただし、毎月第1月曜日は開館しその翌日の火曜日が休館。年末年始（12月28日～1月3日）

使用料

	4月・5月・10月・11月料金		冷暖房期間中料金 (左記の月を除く期間)
アートホール (427㎡)	1日 (9時～22時)	9,500円	13,300円
	1時間	1,150円	1,610円
研修室 (79㎡)	1時間	690円	960円
実技室 (77㎡)	1時間	210円	290円
市民ギャラリー (338㎡)	1日 (9時～22時)	7,500円	10,500円
A室 (236㎡)	1日 (9時～22時)	5,250円	7,350円
B室 (102㎡)	1日 (9時～22時)	2,250円	3,150円
磯崎新 建築展示室	観覧無料		

- 受付方法 ●使用日の6カ月前から受付を行う。
 ●ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3カ月前から受付を行う。
 ●また、5日以上連続して行う展覧会については、12カ月前から受付を行う。
 ●受付時間は、日曜日、祝日及び休館日を除く日の午前9時から午後5時まで。
 ●空き情報の問い合わせは、午前9時から午後10時まで対応。
 ●電話等による仮押えは不可。
 ●使用料は、使用許可の際に事務室の受付窓口で納入。
 ●大分市公共施設案内・予約システムによる利用は可。

- 交通案内 ・JR大分駅から徒歩10分
 ・バス 大分合同新聞社前下車
 ・車 大分自動車道／大分I.C. から15分

名称・所在地

アートプラザ
 〒870-0046 大分市荷揚町3番31号
 TEL 097-538-5000 FAX 097-538-5060

7.6. 利用状況

(単位：人)

	1F		2F				3F	総利用者数
	ギャラリーA	ギャラリーB	アートホール	研修室	実技室	60'sホール	磯崎新建築 模型展示室	
10年度	17,209	14,532	22,398	8,370	1,937	3,607	7,498	75,551
11年度	12,733	10,707	17,600	4,326	3,280	1,663	5,398	55,707
12年度	19,595	15,979	49,831	3,890	3,450	1,454	7,499	101,698
13年度	16,974	11,674	25,298	5,042	4,329	13,111	7,046	83,474
14年度	20,234	15,972	43,515	5,774	4,180	14,510	6,661	110,846
15年度	31,332	24,909	34,215	6,267	4,587	10,126	4,871	116,307
16年度	36,298	31,276	42,928	9,064	4,505	6,730	6,287	137,088
17年度	35,518	35,125	36,161	9,138	3,846	4,676	6,829	131,293
18年度	37,802	32,415	38,629	8,814	4,254	2,655	13,592	138,162

7.7. アートプラザ条例

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206221.html

7.8. アートプラザ条例施行規則

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206231.html

7.9. アートプラザ管理規則

http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206241.html